

KENWOOD

コンパクトハイファイコンポーネントシステム

K-531

CDレシーバー

R-K531

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前に、製品を安全に正しくお使いいただくため、取扱説明書の「安全上のご注意」、
本文をよくお読みのうえ、説明の通りお使いください。
取扱説明書は大切に保管して、必要になったときに繰り返しお読みください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 JVCケンウッド

JVC KENWOOD Corporation

● もくじは7ページにあります。



安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。記載している表示・図記号についての内容をよく理解してから本文をお読みになり、必ずお守りください。

- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



△記号は、注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用・故障・その他の不具合およびこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

この「安全上のご注意」には、当社のオーディオ機器全般についての内容を記載しています。（説明項目の中には、本文での説明と重複する内容もあります）

警告

異常のときは



異常が起きた場合は電源プラグを抜く

内部に水や異物が入ったり、煙が出たり、変な臭いや音がした場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙や、異臭、異音が消えたのを確かめてから修理をご依頼ください。

電源コード・プラグについて



電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したり、ステーブルや釘などで固定しない。

電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしない。コードを敷物などで覆ってしまうと、気付かずに重いものをのせてしまうことがあります。

コードが傷つき、火災・感電の原因となります。

電源コードが傷ついたら(芯線の露出、断線など) 販売店または当社サービス窓口に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全だと発熱したりほこりが付着して、火災の原因となります。また、電源プラグの刃に触れると、感電の原因となります。電源プラグを根元まで差し込んでみがあるコンセントの場合には、販売店や電気工事店にコンセントの交換をご依頼ください。

設置について



交流100ボルトの電圧で使用する
この機器は、交流100ボルト専用です。指定の電源電圧以外で使用すると、火災・感電の原因となります。



風呂、シャワー室では使用しない

風呂、シャワー室など湿度の高いところや、水はねのある場所では使用しない。火災・感電の原因となります。



機器の上に花瓶やコップなど水の入った容器を置かない

水がこぼれて中に入ると、火災・感電の原因となります。



機器の上でろうそくやランプなど火のついたものを置かない

本機のカバーやパネルにはプラスチックが使われており、燃え移ると火災の原因となります。

使用について



水をかけたりぬらしたりしない

火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。



雷が鳴り始めたらアンテナ線や電源プラグには触れない

感電の原因となります。



本機の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない

頭からかぶると窒息の原因となります。

お手入れ



電源プラグを定期的に清掃する

電源プラグにほこりなどが付着していると、湿気等により絶縁が悪くなり、火災・感電の原因となります。電源プラグをコンセントから抜いて、乾いた布で取り除いてください。

注意

異常のときは



落下した機器は電源プラグを抜く
機器を落としたり、カバーやケースが壊れたりした場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

電源コード・プラグについて



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。



電源コードを熱器具に近づけない
電源コードを熱器具（ストーブ、アイロンなど）に近づけない。
コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
必ずプラグを持って抜いてください。



電源プラグが容易に抜き差しできる空間を設ける

- 電源スイッチを切っただけでは機器は電源から完全に遮断されません。完全に遮断するには、電源プラグを抜いてください。
- 機器はコンセントに容易に手が届く位置に設置し、異常が起きた場合すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。

設置について



不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。



湿気やほこりの多い場所に置かない

油煙や湯気の当たる調理台や加湿器のそば、湿気やほこりの多い場所に置かない。火災・感電の原因となることがあります。



温度の高い場所に置かない

窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない。本体や部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。



機器に乗らない

機器に乗ったり、ぶら下がったりしない。特にお子さまにはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。



移動させるときは電源プラグを抜く

移動させるときは、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、スピーカーコード、その他接続コード類を全て外す。コードを抜かずに移動するとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



機器の接続は取扱説明書に従う

関連機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する。また、接続は指定のコードを使用する。誤った接続、指定以外のコードの使用、コードの延長をすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

注意

使用について



長期間使用しないときは電源プラグを抜く

旅行などで長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。火災の原因となることがあります。



機器の内部に異物を入れない

機器の通風孔、開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしない。火災・感電の原因となることがあります。



機器のケースを開けたり改造したりしない

内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となることがあります。点検、修理は販売店または当社サービス窓口にご依頼ください。



ディスク挿入口に手を入れない

手がはさまれて、けがの原因となることがあります。特にお子さまにはご注意ください。



レーザー光源をのぞき込まない

レーザー光が目にあたると、視力障害を起こすことがあります。



ひび割れディスクは使わない

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない。ディスクは機器内で高速に回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。



可動部の作動中には無理な操作を加えない

一つの動作が終了してから、次の操作に移ってください。誤動作や故障の原因となることがあります。



電池について

電池の取り扱いに注意する

次のことを、必ず守ってください。

- 極性表示（プラス「+」とマイナス「-」の向き）に注意し、表示どおりに入れる。
- 指定の電池を使用する。
- 使い切ったときや、長期間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
- 違う種類の電池を混ぜて使用しない。
- 充電電池と乾電池を混ぜて使用しない。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れたりしない。電池は誤った使い方をすると、破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を破損する原因となることがあります。電池を入れたままにしておくと、過放電により液がもれ、けがややけどの原因となることがあります。液がもれた場合は、点検、修理をご依頼ください。万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。



電池は乳幼児の手の届かないところに置く

電池を誤って飲み込むおそれがあります。ボタン電池など小型の電池は特にご注意ください。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師にご相談ください。

注意

音量について



はじめから音量を上げすぎない
突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。特にヘッドホンをご使用になるときは注意してください。



耳を刺激するような大きな音で長時間続けて聴かない
聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンをご使用になるときは注意してください。



長時間音が歪んだ状態で使わない
スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

お手入れ



お手入れの際は電源プラグを抜く
お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜く。感電の原因となることがあります。



定期的に内部の点検、清掃をする
3年に一度程度を目安に、機器内部の点検、清掃をお勧めします。販売店、または最寄のケンウッドサービス窓口
に費用を含めご相談ください。
内部にほこりがたまったらそのまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。

レーザー製品についてのご注意

●この製品は JIS C6802 規格に基づくクラス1レーザー製品です。

レーザー機器内部についてのご注意

- 機器内部には、危険なレーザー放射部があります。分解、改造はしないでください。
- 機器内部には、以下のラベルがあります。

CAUTION VISIBLE AND/OR INVISIBLE CLASS 1M LASER RADIATION WHEN OPEN, DO NOT VIEW DIRECTLY WITH OPTICAL INSTRUMENTS. IEC60825-1:2001 (ENG)	ATTENTION RAYONNEMENT LASER VISIBLE ET/OU INVISIBLE CLASS 1M UNE FOIS OUVERT, NE PAS REGARDER DIRECTEMENT AVEC DES INSTRUMENTS OPTIQUES. (FRA)	AVISO RADIACION LASER DE CLASE 1M VISIBLE Y/O INVISIBLE CUANDO ESTA ABIERTO, NO MIRAR DIRECTAMENTE CON INSTRUMENTAL OPTICA. (ESP)	VARNING SYNLIG OCH/ELLER OINVLIG LASERSTRÅLNING, KLASS 1M, NÄR DENNA DEL ÄR ÖPPNAD. BETRÄKTA EJ STRÅLEN MED OPTISKA INSTRUMENT. (SWE)	注意 ここを開くと可視 及び/または不可視 のクラス1M レーザー放射が 出ます。 光学装置で直接 見ないでください。 (JPN)	CAUTION VISIBLE AND/OR INVISIBLE CLASS 1 LASER RADIATION WHEN OPEN, DO NOT STARE INTO BEAM. FMA 21 CFR (ENG) LV44803-003A
---	--	---	---	---	---

注意：ここを開くと可視及び/または不可視のクラス1Mレーザー放射が出ます。
光学装置で直接見ないでください。

安全上のご注意 2

はじめに 8

本書の見かた	8
付属品について	8
輸送時または移動時の注意	8
設置するときは	9
音響効果を楽しんでいただくために	9

接続のしかた 10

基本接続	10
他の機器（市販品）との接続	11

各部のなまえと働き 12

本体部	12
ディスプレイ部	13
リモコン（RC-RP0503）	14

知っておいていただきたいこと ... 16

本機で使えるメディア	16
本機で再生できる機器	16
BLUETOOTH（ブルートゥース）に ついて	16
再生できるオーディオファイル	17
メディアに書き込むときのご注意	18
フォルダ、ファイルの再生順について （MP3/WMA/WAV）	18
ディスクの取り扱い	19
保管とお手入れ	19

CD 20

再生する	20
再生中の操作	21
ランダム再生	22
リピート再生（REPEAT）	22
プログラム再生	23

FM/AMラジオ 24

FM/AMラジオを聞く	24
放送局を自動で記憶させる （エリアバンド）	25
放送局リスト	26
放送局を手動で記憶させる （マニュアルプリセット）	29
記憶させた放送局を消す	29

BLUETOOTH（ブルートゥース）..30

BLUETOOTH機器とペアリングする	30
BLUETOOTH機器を聞く	31
再生中の操作	31
BLUETOOTH機器の音を補正する （ブルートゥースサウンドエンハンサー）	31
その他のBLUETOOTHの設定	32
電波について	33

iPod/iPhone 34

再生する	34
再生中の操作	35

USB再生 36

再生する	36
USB機器のオーディオファイルを 削除する	36
再生中の操作	37

外部機器（AUX入力とデジタル入力）.. 38

再生する	38
AUX 入力のレベルを調整する	38

デジタルオーディオプレーヤーなど...39

再生する	39
入力レベルを調整する	39

USB録音 40

CDを全曲録音する	40
CDの1曲だけ録音する	40
CDからお好きな曲順で録音する	40
FM/AMラジオ、外部機器から録音する ...	40
録音音質を設定する	41
録音ファイルを自動分割する	41

音質設定 42

重低音を調整する（D-BASS）	42
音域レベルを調整する（TONE）	42
音響効果を部屋の特性に合わせる （CONEQ）	43
Supreme EXを設定する （サブリームEX）	43
スピーカーの左右の音量バランスを 調整する	43

タイマー設定 44

おやすみタイマーを設定する（SLEEP） ..	44
プログラムタイマーを設定する （TIMER SET）	45

その他の設定 47

ディスプレイの明るさを設定する （DIMMER）	47
ディスプレイセーバーを設定する （DISP.SAVER）	47
時刻設定	47
オートパワーセーブ（A.P.S.）を 設定する	48

故障かな？と思ったら 49

保証とアフターサービス 52

ケンウッド全国サービス網 53

定格 54

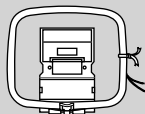
はじめに

本書の見かた

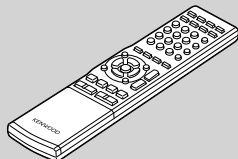
- 本書では、主にリモコンのキーを使って操作説明しています。本体のキーに同じマークがある場合には、本体のキーもお使いいただけます。
- この取扱説明書のディスプレイ表示は実際のディスプレイ表示とは異なる場合があります。

付属品について

AMループアンテナ (1個)

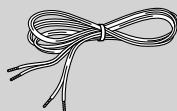


リモコン (1個)



RC-RP0503

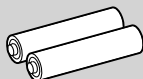
スピーカーコード (2m : 2本)
(K-531のみ付属)



FM室内アンテナ (1本)



リモコン用乾電池 (単4形:2本)



輸送時または移動時の注意

本機を輸送または移動する場合は下記の操作を行なってください。

1 ディスクを取り出す。(P.20)

【CD ►/II】キーを押し、「NO DISC」がディスプレイに表示されるのを確認する。

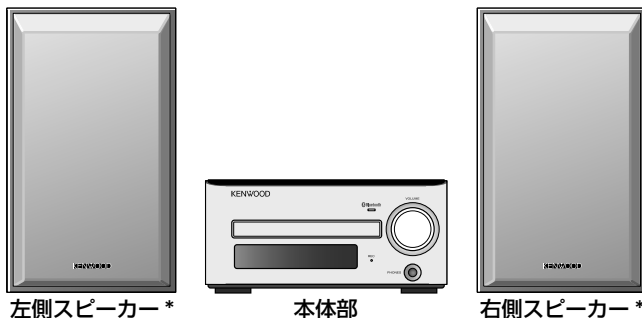
2 電源をオフにする。

3 外部機器が接続されている場合は、それらの電源をオフにする。

4 すべてのコード、ケーブル類を抜く。

設置するときは

- 必ず平らで安定した場所に設置してください。台などの上に設置する場合は、必ず台の強度を確認してください。
- 本機のスピーカーは、防磁設計になっておりません。スピーカーの磁気により、ブラウン管のテレビやパソコンの画面に色ムラが発生することがあります。テレビやパソコンから少し離して置いてください。



* スピーカーはK-531のみに付属



注意

機器を設置するときは、下記のことをお守りください。放熱が十分でないと、内部に熱がこもり、故障や火災の原因となることがあります。

- 機器の上面に、放熱の妨げになるものを置かないでください。
- あおむけや横倒し、逆さまにして使用しないでください。
- 布をかけたり、じゅうたん、布団の上に置いて使用しないでください。
- 風通しの悪い狭い所で使用しないでください。
- 機器の各面から、下記に示すスペースを空けてください。

上面：50cm以上、側面：10cm以上、背面：10cm以上

機器は電源コンセントに容易に手が届く位置に設置し、異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。

また、電源をオフにしただけでは機器は電源から完全に遮断されません。完全に遮断するには、電源プラグを抜いてください。

音響効果を楽しんでいただくために

スピーカーの配置によって音は変化します。よりよい音質をお楽しみいただくために下記を参考にしてください。

- 左右のスピーカーの周囲の環境をできるだけ同じにする。左右のスピーカーを壁から離れたところに設置し、窓に厚手のカーテンなどを掛けて、できるだけ音の反響を少なくする。
- 左右のスピーカーの間隔を広げる。
- 鑑賞時の耳の位置と同じ高さ左右のスピーカーを設置する。

ステレオ音の
エチケット



楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分にしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快適な生活環境を守りましょう。

接続のしかた

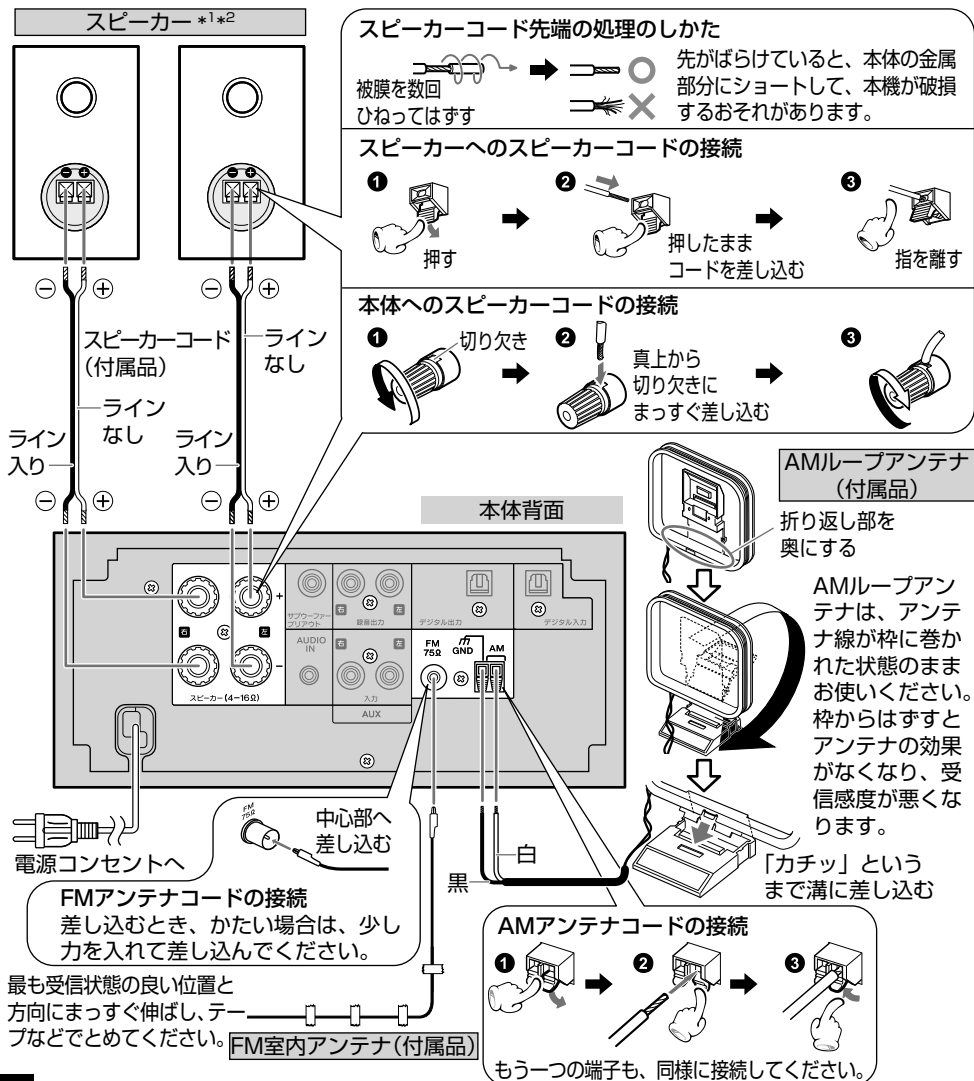


- すべての接続が終了するまで、電源コードのプラグをコンセントへ差し込まないでください。
- 接続したコード、ケーブル類を抜くときは、事前に必ず本体の電源をオフにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因になることがあります。

基本接続

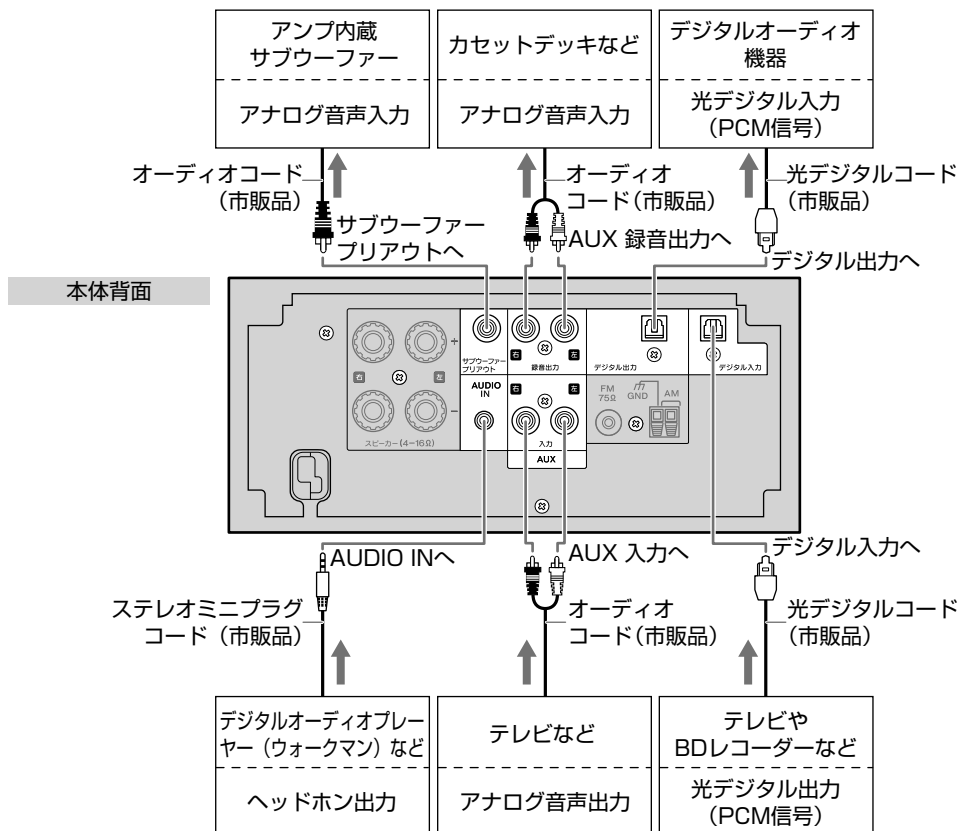
*¹ スピーカーはK-531のみに付属

*² スピーカーは2つとも同じものです



すべての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合は、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。

他の機器（市販品）との接続

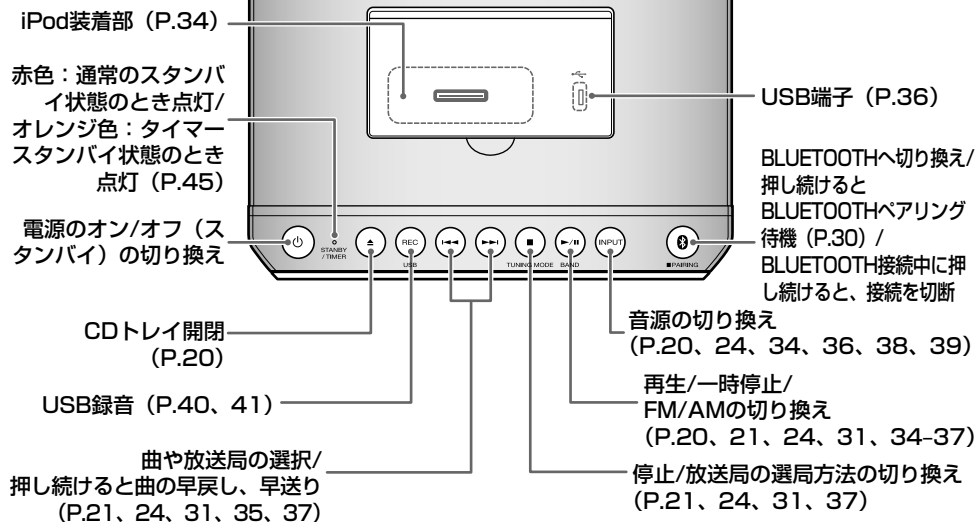


- **マイコン誤動作:** 正しく接続したのに正常に動作しない場合や、ディスプレイが誤った表示をする場合はマイコンをリセットしてください。(P.51)
- 接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- **AUDIO IN** 端子: お使いにならないときは、ミニプラグコードを本体から抜いてください。
- **デジタル入力** 端子: テレビやBDレコーダーなどの接続機器側のデジタル音声出力設定を「PCM」にしてください。
- **デジタル出力** 端子: 本機で再生している市販の音楽CDまたはCD-DAフォーマットで記録したCD-R/CD-RWの音声は、デジタル出力されます。CDのオーディオファイルやiPod/USB/BLUETOOTH/TUNER/AUDIO IN/AUX/D-INの音声は、出力できません。
- **AUX 録音出力** 端子: 本機で再生している音声はアナログ出力されます。

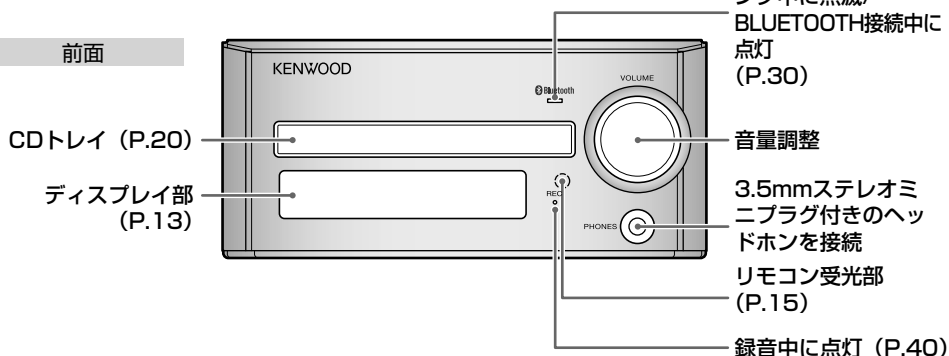
各部のなまえと働き

本体部

上面



前面



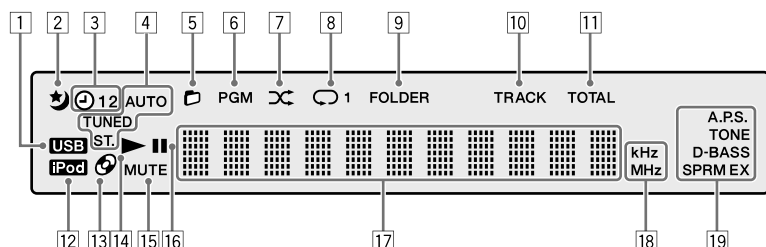
注意

ヘッドホンからの大きな音は、聴力障害などの原因となることがあります。



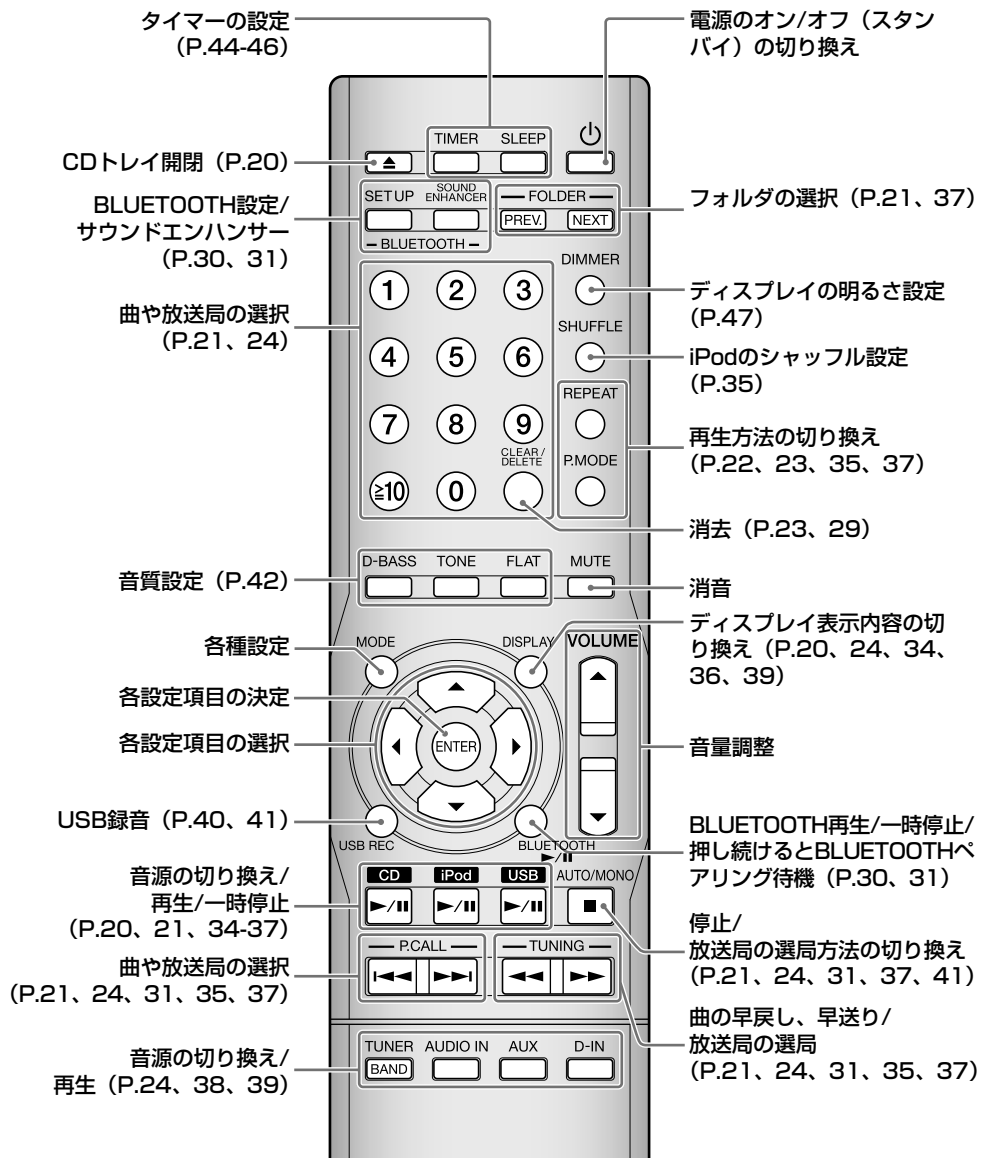
- 本機の[STANDBY/TIMER]インジケータが点灯中は、メモリー保護のため、微弱な通電が行われています。これをスタンバイ状態といいます。またこの状態のとき、リモコンで本機の電源をオンにできます。
- ヘッドホンを接続すると、スピーカーから音は出ません。

ディスプレイ部



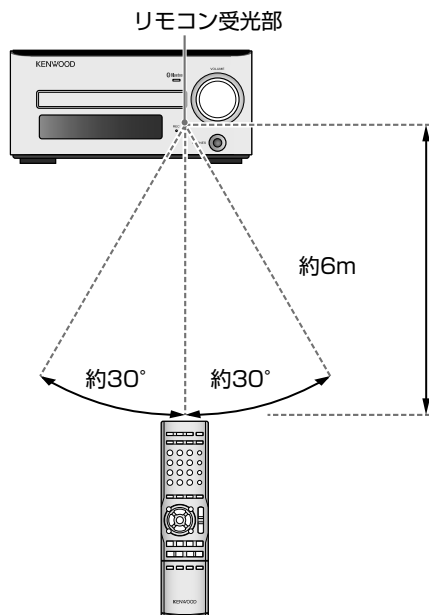
- [1] USB接続中に点灯します。(P.36)
- [2] おやすみタイマーを設定すると点灯します。(P.44)
- [3] プログラムタイマーを設定すると点灯します。(P.45、46)
- [4] **AUTO**
ラジオのオート選局時に点灯します。マニュアル選局時は消灯します。(P.24)
- TUNED**
放送局を受信すると点灯します。(P.24)
- ST.**
ステレオ放送を受信すると点灯します。(P.24)
- [5] フォルダ再生モードのとき点灯します。(P.37)
- [6] プログラム再生モードのとき点灯します。(P.23)
- [7] ランダム再生モードのとき点灯します。(P.22、37)
- [8] CD、USBのリPEAT再生中に点灯します。(P.22、37)
 ○：全曲リPEAT再生中
 ○1：1曲リPEAT再生中
- [9] オーディオファイルのフォルダを表示しているときに点灯します。
- [10] トラックを表示しているときに点灯します。
- [11] ディスク再生停止中、ディスク全体の経過時間を表示しているときに点灯します。
- [12] iPod接続中に点灯します。(P.34)
- [13] ディスクがCDトレイに入っているときに点灯します。(P.20)
- [14] 再生中に点灯します。(P.20、31、34、36)
- [15] 消音（ミュート）中に点滅します。
- [16] 一時停止中に点灯します。(P.21、31、35、37)
- [17] 数字および文字情報を表示します。
- [18] **kHz**
AM受信周波数を表示しているときに点灯します。(P.24)
MHz
FM受信周波数を表示しているときに点灯します。(P.24)
- [19] 音質などの設定をすると点灯します。
A.P.S.
オートパワーセーブを設定すると点灯します。(P.48)
TONE
音域レベルの設定をすると点灯します。(P.42)
D-BASS
重低音のレベルを設定すると点灯します。(P.42)
SPRM EX
Supreme EXが有効なときに点灯します。(P.43)

リモコン (RC-RP0503)



ワンタッチオペレーション機能: 本機は便利なワンタッチオペレーション機能を備えています。スタンバイ状態のとき、リモコンの[BLUETOOTH ▶/||], [CD ▶/||], [iPod ▶/||], [USB ▶/||], [TUNER/BAND], [AUDIO IN], [AUX]または[D-IN]キーを押すと本機の電源がオンになり、音源が切り換わります。

操作のしかた



- リモコン受光部に直射日光や高周波点灯（インバーター方式など）の蛍光灯の光が当たると、正しく動作しないことがあります。このような場合、誤動作を避けるために本機の設置場所を変えてください。

リモコンの電池の入れ方

- ①
- ② 単4形乾電池（付属品）
- ③

- 付属の乾電池は動作チェック用のため、寿命が短いことがあります。
- 電池を交換するときは、2本とも新しい乾電池と交換してください。

⚠ 注意

電池を直射日光（炎天下）や火のそばなど高温となる場所に置かないでください。発熱・破裂・発火による火災、けがの原因となることがあります。

リモコンの数字キーの使い方

数字キーを使って、曲/フォルダ/プリセットされた放送局を選びます。

3を選ぶときは、[3]キーを押す。

17を選ぶときは、[≡10]、[1]、[7]キーを押す。

20を選ぶときは、[≡10]、[2]、[0]キーを押す。

123を選ぶときは、[≡10]、[≡10]、[1]、[2]、[3]キーを押す。

知っておいていただきたいこと

本機で使えるメディア

メディア		説明
USB部	USBフラッシュメモリー	●USB端子には、USBフラッシュメモリーやUSBマスストレージクラス対応のデジタルオーディオプレーヤー以外の機器を接続しないでください。万一、他の機器を接続して発生した故障や破損、データの損失などについては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
	USBマスストレージクラス対応デジタルオーディオプレーヤー	
CD部	市販の音楽CD	●コピーコントロール付きCDなど、CDの規格に準拠していないディスクは再生できない場合があります。
	CD-DAのフォーマットで記録したCD-R/CD-RW	●書き込み時にファイナライズ処理をする必要があります。
	MP3/WMAを記録したCD-R/CD-RW	●CD-R、CD-RWディスクを記録した機器や記録状態、また使用しているCD-R、CD-RWの種類によっては本機で再生できない場合があります。

本機で再生できる機器

再生できるiPod/iPhone	Made for ●iPod classic ●iPod nano (第6世代、第5世代、第4世代、第3世代、第2世代) ●iPod touch (第4世代、第3世代、第2世代、第1世代*) ●iPhone 4S ●iPhone 4 ●iPhone 3GS ●iPhone 3G * ソフトウェアのバージョンが、3.1.3以降のものに対応。
	●iPodの最新の対応状況については、当社ホームページの製品情報をご覧ください。 ●iPodが正しく再生されない場合は、iPodの最新版ソフトウェアをダウンロードし、アップデートしてください。 ●iPodについて詳しくは、アップル社のウェブサイトをご覧ください。<http://www.apple.com/jp/>
再生できるUSB機器	●USBフラッシュメモリー ●USBマスストレージクラス対応デジタルオーディオプレーヤー

BLUETOOTH (ブルートゥース) について

BLUETOOTHは、携帯電話、デジタルオーディオプレーヤーなどの携帯情報機器用の短距離無線通信技術です。BLUETOOTH対応機器同士は、ケーブルを使わずに接続し、通信することができます。

本機は、以下のBLUETOOTHプロファイルに対応しています

- A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)
- AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile)

接続したBLUETOOTH機器がAVRCPに対応している場合は、本機からBLUETOOTH機器を操作することができます (P.31)

再生できるオーディオファイル

本機は、以下のオーディオファイルを再生できます。

●本書ではMP3、WMAファイルなどの音声ファイルをまとめて「オーディオファイル」と呼びます。

メディア	コーデック	拡張子	サンプリング周波数	ビットレート
CD	MP3	.mp3	32 kHz — 48 kHz	32 kbps - 320 kbps
	WMA	.wma	32 kHz — 48 kHz	32 kbps - 320 kbps
USB	MP3	.mp3	32 kHz — 48 kHz	32 kbps - 320 kbps
	WMA	.wma	32 kHz — 48 kHz	32 kbps - 320 kbps
	WAV	.wav	32 kHz — 96 kHz*, 16 / 24 bit	—

* 88.2kHzまたは96kHzのWAVファイルを再生するときは、iPod/iPhoneを本機から外してください。iPod/iPhoneが接続されていると、再生音が途切れる場合があります。

CDのディスクフォーマット

ISO 9660 Level 1、ISO 9660 Level 2、
Joliet、Romeo

ファイル数制限

CD 最大ファイル/フォルダ数：合計512
最大フォルダ数：255
1フォルダ内の最大ファイル数：511

USB 最大ファイル数：2000
最大フォルダ数：999
1フォルダ内の最大ファイル数：999
最大フォルダ階層数：16

表示できる最大文字数

CD ファイル名：28文字
フォルダ名：28文字
タグ表示（タイトル/アルバム名/アーティスト名）：31文字
表示できるID3タグ：1.0 / 1.1 / 2.2 / 2.3

USB ファイル名：64文字
フォルダ名：64文字
タグ表示（タイトル/アルバム名/アーティスト名）：64文字
表示できるID3タグ：1.0 / 1.1 / 2.2 / 2.3 / 2.4

本機が表示できる文字種は、カタカナと英数字です。表示できない文字は「*」と表示されます。

その他の注意事項

- 前記の規格に準拠したオーディオファイルでも、ディスクの特性、記録状態などにより、再生できない場合があります。
- エンコードしたソフトの仕様や設定によっては、再生できない場合があります。
- DRM（デジタル著作権管理）付きファイルは、再生できません。
- WMA Pro、WMA Lossless、WMA Voice ファイルは再生できません。
- VBR（Variable Bit Rate：可変ビットレート）でエンコードされたオーディオファイルは、対応ビットレートの範囲外になることがあります。このような対応範囲外のビットレートのオーディオファイルは再生できません。
- 本機で使用するオーディオファイルはバックアップをしてください。USB機器の使用状況によっては保存内容が失われる場合があります。保存データが失われたことによる損害については、当社はその補償を一切いたしません。あらかじめご了承ください。

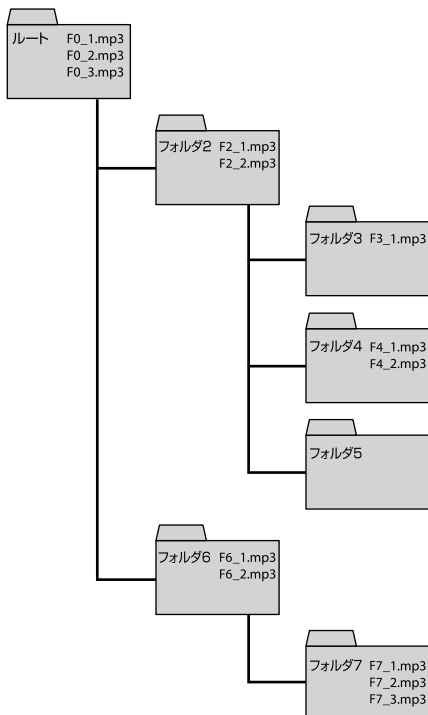
メディアに書き込むときのご注意

- パケットライト方式やUDF (Universal Disc Format) 方式で記録されたディスクは再生できません。
- ディスク書き込み時は、必ずセッションクローズまたはファイナライズしてください。セッションクローズまたはファイナライズしていないディスクは、正しく再生できない場合があります。
- 書き込みソフトの仕様によっては、書き込まれたフォルダ名やファイル名が正しく表示されない場合があります。
- マルチセッションディスクや、フォルダを多く含んでいるディスクを再生する場合、再生が始まるまで通常のディスクより時間がかかることがあります。
- 同一のディスクに、オーディオファイルと音楽CD (CD-DAフォーマット) のデータを書き込むと正しく再生できません。
- オーディオファイルをディスクに書き込む前に、書き込みをするパソコンで、ファイルが正しく再生されることを確認してください。
書き込みが終わったら、書き込まれたファイルが正しく再生されることを確認してください。
- オーディオファイルのファイル名には正しい拡張子 (mp3, wma, wav) を付けてください。拡張子が付いていないファイルは再生されません。また、オーディオファイルでないものには拡張子 (mp3, wma, wav) を付けしないでください。
拡張子については、「再生できるオーディオファイル」をご覧ください。(P.17)

フォルダ、ファイルの再生順について (MP3/WMA/WAV)

オーディオファイルを含むメディアを再生すると、図のようにルートフォルダ内のファイルから順に再生されます。

フォルダ構成例



再生順

1曲目		F0_1.mp3
2曲目		F0_2.mp3
3曲目		F0_3.mp3
4曲目		F2_1.mp3
5曲目		F2_2.mp3
6曲目		F3_1.mp3
7曲目		F4_1.mp3
8曲目		F4_2.mp3
9曲目		F6_1.mp3
10曲目		F6_2.mp3
11曲目		F7_1.mp3
12曲目		F7_2.mp3
13曲目		F7_3.mp3

- ファイルのないフォルダが記録されている場合は、そのフォルダは選択できません。
- オーディオファイルは、メディアに記録した順番に再生されます。フォルダ名、ファイル名の頭に「01」から「99」などの番号を付けてからメディアに記録すると、再生する順番を設定することができます。

ディスクの取り扱い

- 取り扱い上のお願い
再生面にふれないように持ってください。
- 本機で使用できるディスクについて
CD (12cm、8cm)、CD-ROM、CD-R、CD-RW、CD-EXTRAの音声部分が再生できます。
- CD-ROM/CD-R/CD-RWディスクについて
レーベル面に印刷可能なCD-ROM、CD-R、CD-RWを使用すると、レーベル面が貼り付いてディスクの取り出しができなくなることがあります。本機の故障の原因となるため、このようなディスクは使用しないでください。
- CDのご注意
のマークが入ったディスクをご使用ください。(このマークが入っていないディスクは正しく再生できない場合があります。)
- 再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびや欠けのあるディスク、大きくそったディスク等は絶対に使用しないでください。プレーヤーの破損、故障の原因になります。
- 円形以外の形をしたディスクは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

保管とお手入れ

本体部

- 次のような場所に置かない
 - 直射日光の当たる場所。
 - 湿気やほこりの多い場所。
 - 暖房器具の熱が直接当たる場所。
- 結露に注意
本機と外気の温度差が大きいと、本機に水滴（露）が付くことがあります。この現象がおきますと、本機が正常に動作しないことがあります。このような場合には、数時間放置し、乾燥させてからご使用ください。
気温差の大きいところへ持ち込んだときや、湿気の多い部屋などでは、特に結露にご注意ください。
- 汚れたときは
前面パネルなど、本機が汚れたときは、柔らかい布でからぶきします。シンナー、ベンジン、アルコール、接点復活剤などは変色、変形の原因になることがありますので、使用しないでください。

CD

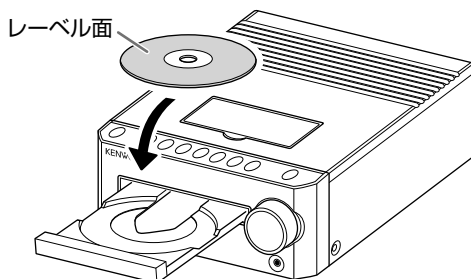
- 保管するときは
長い間使用しないときは、ディスクを本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。
- 汚れたときは
 - ディスクに指紋や汚れがついたときは、やわらかい布などで、放射状に軽くふきとってください。
 - レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかないでください。
 - ディスクアクセサリ（スタビライザー、保護シート、保護リングなど）およびレンズクリーナーは使わないでください。
- その他お守りいただきたいこと
 - 鉛筆やボールペンなどで字を書かないでください。
 - シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているディスクは使用しないでください。
 - 紙やシール、ラベルを貼らないでください。

本書では、主にリモコンのキーを使って操作説明しています。本体のキーに同じマークがある場合には、本体のキーもお使いいただけます。



再生する

1 [△]キーを押してCDトレイを開き、ディスクを入れる



2 [△]キーを押してCDトレイを閉じる ディスクを読み込んでいるあいだ、「READING」が点滅します。

3 [CD ▶/II]キーを押して再生する ●本体で操作するときは、[INPUT]キーを押して音源を「CD」に切り換えてから、[▶/II]キーを押して再生します。

ディスプレイ部の表示を変えるには

[DISPLAY]（ディスプレイ）キーを押す。

押すたびに次のように切り換わります。

- 市販の音楽CD・CD-DAフォーマットで記録したCD-R/CD-RWの場合：
曲の経過時間 → 曜日/時刻 → （最初に戻る）
- MP3/WMAで記録したCD-R/CD-RWの場合：
トラック番号/曲の経過時間 → MP3またはWMA/フォルダ番号/トラック番号 → ファイル名 → フォルダ名 → タイトル（タグ）→ アーティスト名（タグ）→ アルバム名（タグ）→ 曜日/時刻 → （最初に戻る）



以下のようなディスクを再生すると、トラック番号が正しく表示されないことがあります。

- Mixモード*で記録されたディスク
 - マルチセッションで記録されたディスク
 - CD-DAのフォーマットと音楽データではないフォーマットが混在して記録されたディスク
- * MixモードとはCD-DAのフォーマットとMP3/WMAなどのオーディオファイルが混在するモードのことです。



再生中の操作

一時停止と再開

[CD ►/II]キーを押す。

停止する

[■]キーを押す。

曲番号を指定する

3曲目を選ぶときは、[3]キーを押す。

17曲目を選ぶときは、[≧10]、[1]、[7]キーを押す。

20曲目を選ぶときは、[≧10]、[2]、[0]キーを押す。

123曲目を選ぶときは、[≧10]、[≧10]、[1]、[2]、[3]キーを押す。

早送り/早戻しをする

早送り：[▶▶]キーを押し続ける。

早戻し：[◀◀]キーを押し続ける。

次の曲に飛ぶ/曲の初めに戻る/前の曲へ戻る

次の曲に飛ぶ：[▶▶]キーを押す。

曲の初めに戻る：[◀◀]キーを押す。

前の曲へ戻る：[◀◀]キーを2回以上押す。

フォルダを飛ばす (MP3/WMAの場合)

次のフォルダに飛ぶ：[NEXT]キーを押す。

前のフォルダに飛ぶ：[PREV.]キーを押す。



レジューム機能について (MP3/WMAファイルのみ)

- [■]キーを押して再生を停止したときは、そのとき再生していた曲が記憶されており、[CD ►/II]キーを押すとその曲の最初から再生が始まります。(レジューム機能)
- 音源を切り換えたり、電源をオフにしたときは、レジューム機能は解除されます。



ランダム再生

曲を順不同で再生します。

●再生中のときは、[■]キーを押して再生を停止します。

1 [P.MODE]キーを繰り返し押して「xc」を点灯させる

2 [CD ▶/II]キーを押して再生する

ランダム再生を解除するには

[■]キーを押して再生を停止してから、[P.MODE]キーを押して「xc」表示を消灯させます。

リピート再生 (REPEAT)

曲を繰り返し再生します。

1 [CD ▶/II]キーを押して繰り返したい曲を再生する

2 [REPEAT]キーを押してリピート再生を選ぶ

押すたびに次のように切り換わります。

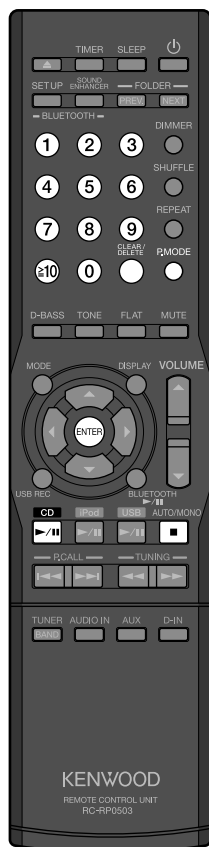
1曲リピート再生 (「○1」点灯) → フォルダリピート再生 (MP3/WMAのみ: 「□ ○」点灯) → 全曲リピート再生 (「○」点灯) → リピート再生を解除 → (最初に戻る)

リピート再生を解除するには

[REPEAT]キーを繰り返し押して「○1」、「□ ○」または「○」表示を消灯させます。



- プログラム再生中に[REPEAT]キーを押すと「○」と「PGM」が点灯し、選んだ曲を繰り返し再生します。
- ランダム再生中に[REPEAT]キーを押して全曲リピート再生すると「○」と「xc」が点灯し、ランダム再生がひと通り終わってから、新たに違う順番でランダム再生が始まります。



プログラム再生

CDをお好みの順番で聞くことができます(最大50曲)。

- **[CD ▶/II]**キーを押して、音源をCDに切り換えます。
音源を切り換えると再生が始まるので、**[■]**キーを押して再生を停止します。
- 再生中の場合は、**[■]**キーを押して再生を停止します。

1 **[P.MODE]**キーを繰り返し押して「PGM」を点灯させる

2 MP3/WMAの場合：

- ① 数字キーを押して (P.15) 聞きたいファイルのあるフォルダを選び、**[ENTER]**キーを押す
- ② 数字キーを押して聞きたいファイルを選ぶ

音楽CDの場合：

数字キーを押して (P.15) 聞きたい曲を選ぶ

3 2曲以上選ぶときは手順2を繰り返す
50曲まで選ぶことができます。51曲目を選ぼうとすると「PGM FULL」と表示されます。

4 **[CD ▶/II]**キーを押してプログラム再生を始める

プログラム再生を解除するには

[■]キーを押して再生を停止してから、**[P.MODE]**キーを押して「PGM」表示を消灯させます。

プログラムした曲を取り消すには

[■]キーを押して再生を停止してから、**[CLEAR/DELETE]**キーを押します。押すたびに、プログラムした最後の曲から1曲ずつ取り消されます。

[CLEAR/DELETE]キーを押し続けると、プログラムしたすべての曲が取り消されます。

プログラムに曲を後から追加するには

[■]キーを押して再生を停止してから、手順2の操作をします。

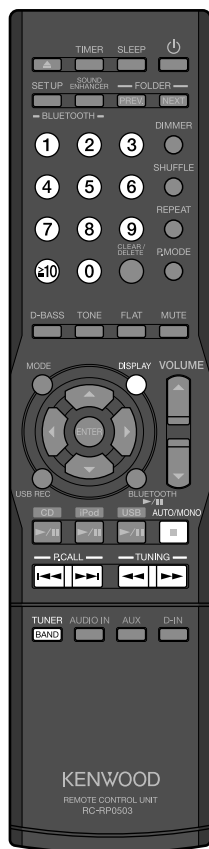


以下の場合、設定したプログラム内容は消去されます。

- 電源をオフにする
- プログラム再生を設定したディスクを取り出す



FM/AMラジオ



あらかじめアンテナを接続しておいてください。(P.10)
お住まいのエリアに対応し、複数の放送局をまとめて設定することもできます。(エリアバンド：P.25)

FM/AMラジオを聞く

1 [TUNER/BAND]キーを押して「FM」または「AM」を選ぶ

- 本体で操作するときは、[INPUT]キーを押して音源を「TUNER」に切り換えてから、[BAND]キーを押して「FM」または「AM」を選びます。

2 [AUTO/MONO]キーを押して選局方法（オート選局/マニュアル選局）を選ぶ

- 本体で操作するときは、[TUNING MODE]キーを押して選局方法を選びます。
- 電波状態の良い場合はオート選局を選びます。（「AUTO」が点灯します）
- 電波状態の悪い場合はマニュアル選局を選びます。

3 [TUNING ◀◀]または[TUNING ▶▶]キーを押して放送局を選ぶ

- 本体で操作するときは、[◀◀]または[▶▶]キーを押して放送局を選びます。
 - オート選局のときは、キーを押すたびに次の放送局を自動で受信します。お好みの放送局を受信するまで操作を繰り返してください。
 - マニュアル選局のときは、受信したい周波数になるまでキーを押してください。
- 受信すると「TUNED」が点灯します。ステレオ受信すると「ST」が点灯します。

記憶されている放送局を選局するには（プリセットコール）

あらかじめ放送局を記憶させておいてください。(P.25-29)

- [P.CALL ◀◀]または[P.CALL ▶▶]キーを押すたびに、記憶されている放送局が順に切り換わります。押し続けると連続して切り換わります。
- 数字キーを押してプリセット番号を選ぶ。(P.15)

ディスプレイ部の表示を変えるには

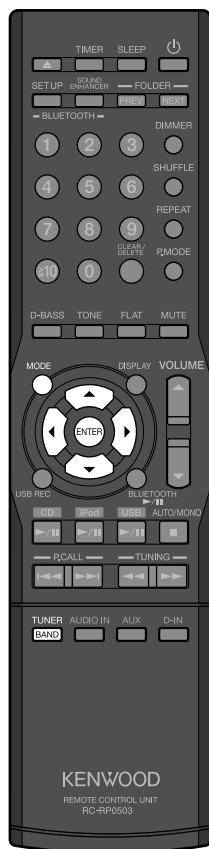
[DISPLAY]キーを押す。

押すたびに次のように切り換わります。

- 放送局名が記憶されている場合：
放送局名 → 周波数 → 曜日/時刻 → （最初に戻る）
- 放送局名が記憶されていない場合：
周波数 → 曜日/時刻 → （最初に戻る）



- オート選局/マニュアル選局中は音が出ません。
- オート選局はステレオ受信、マニュアル選局はモノラル受信になります。
- 受信中の放送局名が設定されていない場合は、放送局名は表示されません。



放送局を自動で記憶させる（エリアバンド）

お住まいのエリア（地域）を指定することで、指定したエリアの放送局をプリセット番号に記憶して、放送局名を表示することができます。

- 放送局名を表示できる放送局は「放送局リスト」をご覧ください。（P.26-28）

1 [TUNER/BAND]キーを押す

2 [MODE]キーを押す

3 [◀]または[▶]キーを押して「エリアバンド」を選び、[ENTER]キーを押す

4 [▲]または[▼]キーを押してエリア（お住まいの地域）を選び、[ENTER]キーを押す

- ディスプレイに「COMPLETE」と表示され放送局が記憶されます。記憶後はプリセット番号P01を受信した状態になります。
- お住まいのエリアが変わった場合は、もう一度記憶させてください。



- プリセットしても電波状態が悪い場合は、受信できません。
- 「放送局リスト」（P.26-28）以外の放送局は、マニュアルプリセット（P.29）で記憶させてください。
- ケーブルテレビなどのアンテナを本機に接続した場合は、放送局が正しく表示されない場合があります。

【放送局リスト】

●放送局名は変更されることがあります。

北海道（ホッカイドウ）

プリセット番号	バンド	周波数	表示名	放送局
1	FM	80.4 MHz	AIR-G'	エフエム北海道
2		82.5 MHz	NORTH WAVE	エフエム・ノースウェーブ
3		85.2 MHz	NHK-FM	NHK
4		567 kHz	NHK-AM1	NHK
5	AM	747 kHz	NHK-AM2	NHK
6		1287 kHz	HBCラジオ	北海道放送
7		1440 kHz	STVラジオ	STVラジオ

東北（トウホク）

プリセット番号	バンド	周波数	表示名	放送局
1	FM	76.1 MHz	FM IWATE	エフエム岩手
2		77.1 MHz	Date fm	エフエム仙台
3		80.0 MHz	FMアオモリ	エフエム青森
4		80.4 MHz	リズム・ステーション	エフエム山形
5		81.8 MHz	フクシマFM	エフエム福島
6		82.5 MHz	NHK-FM	NHK
7		82.8 MHz	FMアキタ	エフエム秋田
8	AM	684 kHz	イワテホウソウ	IBC岩手放送
9		891 kHz	NHK-AM1	NHK
10		918 kHz	ヤマガタホウソウ	山形放送
11		936 kHz	アキタホウソウ	秋田放送
12		1089 kHz	NHK-AM2	NHK
13		1233 kHz	アオモリホウソウ	青森放送
14		1260 kHz	トウホクホウソウ	東北放送
15		1458 kHz	ラジオ フクシマ	ラジオ福島

関東（カントウ）

プリセット番号	バンド	周波数	表示名	放送局
1	FM	76.1 MHz	InterFM	エフエムインターウェーブ
2		76.4 MHz	RADIO BERRY	エフエム栃木
3		77.1 MHz	ホウソウダイガク	放送大学
4		78.0 MHz	bayfm	ベイエフエム
5		79.5 MHz	NACK5	エフエムナックファイブ
6		80.0 MHz	TOKYO FM	エフエム東京
7		81.3 MHz	J-WAVE	J-WAVE
8		82.5 MHz	NHK-FM	NHK
9		84.7 MHz	Fm Yokohama	横浜エフエム放送
10		86.3 MHz	FM GUNMA	エフエム群馬
11	AM	594 kHz	NHK-AM1	NHK
12		693 kHz	NHK-AM2	NHK
13		810 kHz	AFNトウキョウ	AFN東京
14		954 kHz	TBSラジオ	TBSラジオ&コミュニケーションズ
15		1134 kHz	ブンカホウソウ	文化放送
16		1197 kHz	イバラキホウソウ	茨城放送
17		1242 kHz	ニッポンホウソウ	ニッポン放送
18		1422 kHz	ラジオニッポン	アール・エフ・ラジオ日本
19		1530 kHz	トチギホウソウ	栃木放送

中部 (チュウブ)

プリセット番号	バンド	周波数	表示名	放送局
1	FM	76.1 MHz	FMFUKUI	福井エフエム放送
2		77.5 MHz	FM-NIIGATA	エフエムラジオ新潟
3		77.8 MHz	ZIP-FM	ZIP-FM
4		78.4 MHz	K-MIX	静岡エフエム放送
5		79.0 MHz	FM PORT	新潟県民エフエム放送
6		79.7 MHz	FM NAGANO	長野エフエム放送
7		80.0 MHz	Radio 80	岐阜エフエム
8		80.1 MHz	KNBラジオ	北日本放送
9		80.5 MHz	FM ISHIKAWA	エフエム石川
10		80.7 MHz	FM AICHI	エフエム愛知
11		82.5 MHz	NHK-FM	NHK
12		82.7 MHz	FMトヤマ	富山エフエム放送
13		83.0 MHz	FM-FUJI	エフエム富士
14	AM	729 kHz	NHK-AM1	NHK
15		738 kHz	KNBラジオ	北日本放送
16		765 kHz	ヤマナシホウソウ	山梨放送
17		864 kHz	FBCラジオ	福井放送
18		909 kHz	NHK-AM2	NHK
19		1053 kHz	CBCラジオ	中部日本放送
20		1098 kHz	シンエツホウソウ	信越放送
21		1107 kHz	ホクリクホウソウ	北陸放送
22		1116 kHz	ニイガタホウソウ	新潟放送
23		1332 kHz	トウカイラジオ	東海ラジオ放送
24		1404 kHz	SBSラジオ	静岡放送
25		1431 kHz	ギフホウソウ	岐阜放送

近畿 (キンキ)

プリセット番号	バンド	周波数	表示名	放送局
1	FM	76.5 MHz	FM CO・CO・LO	FM802
2		77.0 MHz	e-radio	エフエム滋賀
3		78.9 MHz	Radio3 FMミエ	三重エフエム放送
4		80.2 MHz	FM802	FM802
5		85.1 MHz	fm osaka	エフエム大阪
6		88.1 MHz	NHK-FM	NHK
7		89.4 MHz	FMキョウト	エフエム京都
8		89.9 MHz	Kiss-FM	兵庫エフエム放送
9		558 kHz	ラジオ カンサイ	ラジオ関西
10	AM	666 kHz	NHK-AM1	NHK
11		828 kHz	NHK-AM2	NHK
12		1008 kHz	ABCラジオ	朝日放送
13		1143 kHz	KBS キョウト	京都放送
14		1179 kHz	マイニチホウソウ	毎日放送
15		1314 kHz	ラジオ オオサカ	大阪放送
16		1431 kHz	ワカヤマホウソウ	和歌山放送

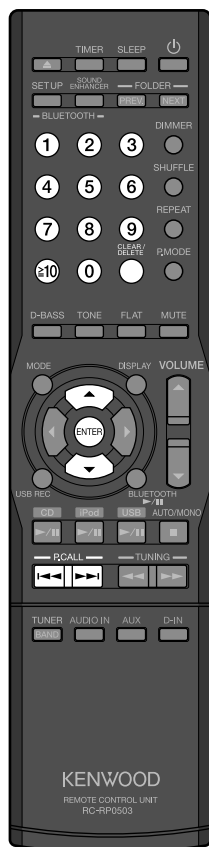


中国・四国 (チュウゴク・シコク)

プリセット番号	バンド	周波数	表示名	放送局
1	FM	76.8 MHz	FMオカヤマ	岡山エフエム放送
2		77.4 MHz	fm-sanin	エフエム山陰
3		78.2 MHz	ヒロシマFM	広島エフエム放送
4		78.6 MHz	FMカガワ	エフエム香川
5		79.2 MHz	FMヤマグチ	エフエム山口
6		79.7 MHz	FMエヒメ	エフエム愛媛
7		80.7 MHz	FMトクシマ	エフエム徳島
8		81.6 MHz	FM KOCHI	エフエム高知
9		88.3 MHz	NHK-FM	NHK
10		702 kHz	NHK-AM2	NHK
11	AM	765 kHz	ヤマグチホウソウ	山口放送
12		900 kHz	コウチホウソウ	高知放送
13		900 kHz	BSSラジオ	山陰放送
14		1071 kHz	NHK-AM1	NHK
15		1116 kHz	ナンカイホウソウ	南海放送
16		1269 kHz	シコクホウソウ	四国放送
17		1350 kHz	RCCラジオ	中国放送
18		1449 kHz	ニシニホンホウソウ	西日本放送
19		1494 kHz	RSKラジオ	山陽放送

九州・沖縄 (キュウシュウ・オキナワ)

プリセット番号	バンド	周波数	表示名	放送局
1	FM	76.1 MHz	Love FM	ラブエフエム国際放送
2		77.4 MHz	FMK	エフエム熊本
3		77.9 MHz	FMサガ	エフエム佐賀
4		78.7 MHz	cross fm	CROSS FM
5		79.5 MHz	fmnagasaki	エフエム長崎
6		79.8 MHz	ミュー FM	エフエム鹿児島
7		80.7 MHz	FM FUKUOKA	エフエム福岡
8		83.2 MHz	JOY FM	エフエム宮崎
9		84.8 MHz	NHK-FM	NHK
10		87.3 MHz	FM Okinawa	エフエム沖縄
11		88.0 MHz	FM OITA	エフエム大分
12		89.1 MHz	AFNオキナワ	AFN沖縄
13	AM	612 kHz	NHK-AM1	NHK
14		648 kHz	AFNオキナワ	AFN沖縄
15		738 kHz	リュウキュウホウソウ	琉球放送
16		864 kHz	ラジオ オキナワ	ラジオ沖縄
17		936 kHz	ミヤザキホウソウ	宮崎放送
18		1017 kHz	NHK-AM2	NHK
19		1098 kHz	オオイタホウソウ	大分放送
20		1107 kHz	ミナミニホンホウソウ	南日本放送
21		1197 kHz	クマモトホウソウ	熊本放送
22		1233 kHz	ナガサキホウソウ	長崎放送
23		1278 kHz	RKBマイニチホウソウ	RKB毎日放送株式会社
24		1413 kHz	キュウシュウ アサヒ	九州朝日放送
25		1458 kHz	NBCラジオ サガ	NBCラジオ佐賀



放送局を手動で記憶させる(マニュアルプリセット)

FM、AM合わせて最大40局の放送局を記憶させることができます。

- 1 プリセットに登録したい放送局をオート選局またはマニュアル選局で選び (P.24)、[ENTER]キーを押す



- 2 [▲]、[▼]または数字キーを押して (P.15) 記憶させたいプリセット番号 (P01~P40) を選び、[ENTER]キーを押す

選んだプリセット番号



- 3 [▲]、[▼]キーを押して放送局表示名を選び、[ENTER]キーを押す



記憶させた放送局を消す

プリセットに登録した放送局を消します。

- 1 消したい放送局のプリセット番号を選ぶ
● [P.CALL ◀▶] または [P.CALL ▶▶] キーで選ぶ (P.24)
● 数字キーを押してプリセット番号を選ぶ。 (P.15)

- 2 [CLEAR/DELETE] キーを押す
● ディスプレイに「CLEAR?」と表示されます。
● プリセット番号P40は消去できません。 (「CAN'T CLEAR」と表示されます。)

- 3 「CLEAR?」表示中に、[ENTER]キーを押して放送局を消す

放送局を消したあとのプリセット番号について

例) P11の「■■局」を消すと



後ろのプリセット番号が
前に繰り上がります。

繰り上がって空いたプリ
セット番号には自動的に
FM76MHzが記憶されます。



- プリセットしても電波状態が悪い場合は、受信できません。
- すでに放送局が記憶されているプリセット番号に登録すると、新しい放送局に変更されます。
- 選べる放送局表示名は、「放送局リスト」をご覧ください。 (P.26-28)



BLUETOOTH (ブルートゥース)



BLUETOOTH対応の携帯電話やBLUETOOTH機器に入っている曲を、ワイヤレスで本機から再生できます。

BLUETOOTH機器とペアリングする

初めてBLUETOOTH機器と接続するときは、本機とBLUETOOTH機器をペアリングする必要があります。

- ペアリングしたBLUETOOTH機器は、本機に登録されます。
- 5台のBLUETOOTH機器を登録できますが*、一度に接続できるのは1台です。

- 1 BLUETOOTH機器（相手側機器）の電源をオンにする**
- 2 [BLUETOOTH ►/II]キーを押して音源をBLUETOOTHにする**
- 3 [BLUETOOTH SETUP]キーを押す**
- 4 [◀]または[▶]キーを押して「PAIRING?」を選び、[ENTER]キーを押す**
ペアリング待機状態になります。
●5分間操作しないと、ペアリング待機は解除されます。
- 5 BLUETOOTH機器（相手側機器）でペアリング操作をする**
ペアリングが終わると、「SUCCESS」と本機に表示されます。
●BLUETOOTH機器には、本機は「K-531」と表示されます。
●ペアリング中は、本体の[BLUETOOTH]インジケーターが点滅します。
●ペアリング中に、PINコード（パスキー）の入力を求められた場合は、「0000」を入力してください。
●ペアリング後は、BLUETOOTH機器との接続が確立します。（接続中は、本体の[BLUETOOTH]インジケーターが点灯します。）

[BLUETOOTH] [Bluetooth] PAIRING
インジケーター キー



本体

手順2、3、4を行う代わりに、[BLUETOOTH ►/II]キーまたは本体の[Bluetooth] PAIRINGキーを押し続けることでも、ペアリング待機状態にできます。



- BLUETOOTH機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- * 6台目のBLUETOOTH機器を登録すると、接続履歴が最も古いBLUETOOTH機器の登録が削除されます。



BLUETOOTH機器を聞く

登録したBLUETOOTH機器を本機とワイヤレス接続し、本機から再生することができます。

1 [BLUETOOTH ▶/||]キーを押してBLUETOOTH機器を再生する

- 本体で操作するときは、[INPUT]キーを押して音源を「BLUETOOTH」に切り換えてから、[▶/||]キーを押してBLUETOOTH機器を再生します。



ディスプレイ部の表示を変えるには

[DISPLAY]キーを押す。

押すたびに次のように切り換わります。

「BLUETOOTH」→ 曜日/時刻 → (最初に戻る)

再生中の操作

一時停止と再開

[BLUETOOTH ▶/||]キーを押す。

停止する

[■]キーを押す。

早送り/早戻しをする

早送り：[▶▶]キーを押し続ける。

早戻し：[◀◀]キーを押し続ける。

次の曲に飛ぶ/曲の初めに戻る/前の曲へ戻る

次の曲に飛ぶ：[▶▶]キーを押す。

曲の初めに戻る：[◀◀]キーを押す。

前の曲へ戻る：[◀◀]キーを2回以上押す。

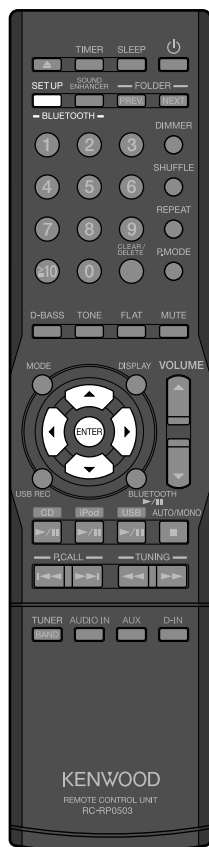
BLUETOOTH機器の音を補正する (ブルートゥースサウンドエンハンサー)

BLUETOOTH機器の、不足気味に聞こえる音域を補正し、より自然な音楽が楽しめるようになります。

1 [BLUETOOTH SOUND ENHANCER]キーを押す。 押すたびにオンとオフが切り換わります。



- BLUETOOTH機器の機種によっては、早送り/早戻しができないことがあります。
- BLUETOOTH機器を聞き終わった後、以下のいずれかの操作を行うと、接続が自動的に切断されます。
 - BLUETOOTH機器または本機の電源をオフにする
 - 本機の音源を切り換える
 - 本体の[Bluetooth] ■[PAIRING]キーを、「CANCEL」と表示されるまで押し続ける



[BLUETOOTH]
インジケーター



本体

その他のBLUETOOTHの設定

1 [BLUETOOTH SETUP]キーを押す

2 [◀]または[▶]キーを押して項目を選び、[ENTER]キーを押す

- PAIRING? *¹ : BLUETOOTH機器とのペアリングをします。(P.30)
- RECEIVE? *¹ : 最後に接続したBLUETOOTH機器と接続します。
- CANCEL? *² : BLUETOOTH接続を切断します。
- SEL DEVICE? *¹*³ : 登録済みのBLUETOOTH機器から接続する機器を選択します。
- DEL DEVICE? *¹ : BLUETOOTH機器の登録を削除します。
- SYS INFO? : 本機の機器名「K-531」とBLUETOOTHアドレスを表示します。

3 さらに設定が必要なら[◀]、[▶]、[▲]、[▼]、[ENTER]キーを使って設定する

*¹ BLUETOOTH機器が接続されていない状態 ([BLUETOOTH]インジケーターが消えている状態) で選択できます。

*² BLUETOOTH機器が接続されている状態 ([BLUETOOTH]インジケーターが点灯している状態) で選択できます。

*³ 「SEL DEVICE?」を選んで[ENTER]キーを押したあと、[BLUETOOTH ▶/II]キーを押してください。

電波について

- 本機は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けています（または、受けた部品を使用しています）。したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。日本国内以外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。
 - － 分解/改造すること
- 本機は2.4GHz帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。ほかの無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

使用上のご注意

本機の使用周波数帯（2.4GHz）では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、当社カスタマーサポートセンターにご連絡頂き、混信回避の処置等についてご相談ください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、当社カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

- 製品に表示している周波数表示の意味は以下の通りです。

2.4FH1

2.4：2.4GHz帯を使用する無線機器です。

FH：FH-SS変調方式を表します。

1：電波干渉距離は10mです。

■■■■■：全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能です。

使用可能距離は見通し距離約10mです。

鉄筋コンクリートや金属の壁等をはさんでトランスミッターとレシーバーを設置すると電波を遮ってしまい、音楽が途切れたり、出なくなったりする場合があります。本機を使用する環境により伝送距離が短くなります。

- 下記の電子機器と本機との距離が近いと電波干渉により、正常に動作しない、雑音が発生するなどの不具合が生じることがあります。
 - － 2.4GHzの周波数帯域を利用する無線LAN、電子レンジ、デジタルコードレス電話などの機器の近く。電波が干渉して音が途切れることがあります。
 - － ラジオ、テレビ、ビデオ、BS/CSチューナー、VICSなどのアンテナ入力端子を持つAV機器の近く。音声や映像にノイズがのることがあります。
- 本機は電波を使用しているため、第3者が故意または偶然に傍受することが考えられます。重要な通信や人命にかかわる通信には使用しないでください。



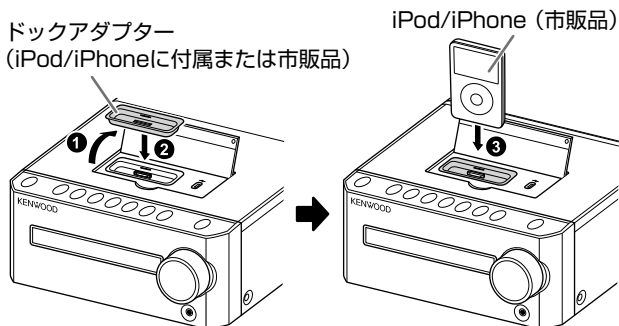


iPod/iPhone



再生する

1 iPod/iPhoneを接続する



2 [iPod ▶/||]キーを押して再生する

- 本体で操作するときは、[INPUT]キーを押して音源を「iPod」に切り換えてから、[▶/||]キーを押して再生します。

ディスプレイ部の表示を変えるには

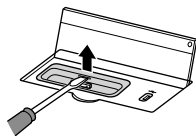
[DISPLAY]キーを押す。

押すたびに次のように切り換わります。

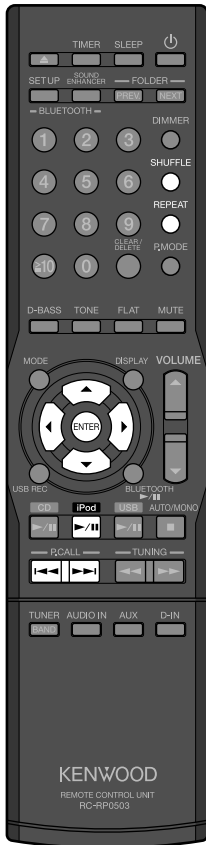
曲の経過時間 → タイトル (タグ) → アーティスト名 (タグ)
→ アルバム名 (タグ) → 曜日/時刻 → (最初に戻る)

ドックアダプターを取り外すには

ドックアダプターを取り外すときは、指の爪や先の細いものをスロット部にかけてドックアダプターを引き上げてください。その際には、爪を傷つけたり、ドックの端子を破損しないように気をつけてください。



- iPod/iPhoneにカバーやケースなどのアクセサリを付けたまま本機に接続することではできません。必ず取り外してください。
- ドックアダプターを取り付けずに本機にiPod/iPhoneを接続すると、コネクタ部が劣化または破損するおそれがあります。必ずドックアダプターをご使用ください。ただしiPodの機種 (iPod nano 第6世代など) によってはドックアダプターが不要な場合もあります。
- iPod/iPhoneの抜き差しは、まっすぐ、ていねいに行なってください。
- iPod/iPhoneを接続するとiPod/iPhoneの充電をすることができます。



再生中の操作

一時停止と再開

[iPod ▶/||]キーを押す。

早送り/早戻しをする

早送り：[▶▶]キーを押し続ける。

早戻し：[◀◀]キーを押し続ける。

次の曲に飛ぶ/曲の初めに戻る/前の曲へ戻る

次の曲に飛ぶ：[▶▶]キーを押す。

曲の初めに戻る：[◀◀]キーを押す。

前の曲へ戻る：[◀◀]キーを2回以上押す。

シャッフルの設定をする

[SHUFFLE]キーを押す。

押すたびに、シャッフルの設定が切り換わります。

リピートの設定をする

[REPEAT]キーを押す。

押すたびに、リピートの設定が切り換わります。

iPod/iPhoneのメニューを選択する

一つ上の階層に戻る：[◀]キーを押す。

項目を選ぶ：[▲]または[▼]キーを押す。

項目を決定する：[ENTER]キーを押す。

iPod/iPhoneをスリープさせる

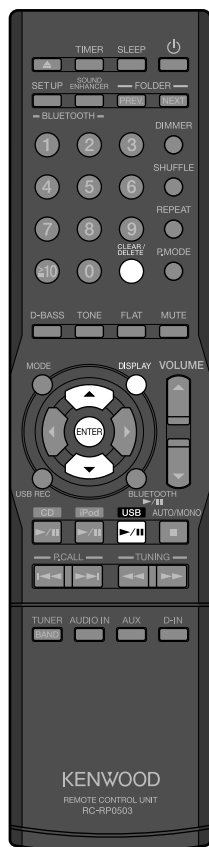
[iPod ▶/||]キーを押し続ける。



- 本機からiPod/iPhoneに録音することはできません。
- iPod/iPhoneの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- iPod/iPhoneのソフトウェアは、最新のバージョンにアップデートしてください。
- iPod/iPhone本体からも操作できます。
- 他のアルバムへ移動したいときは、上記「iPod/iPhoneのメニューを選択する」の操作を行なって移動してください。前のアルバム/次のアルバムへ直接移動することはできません。

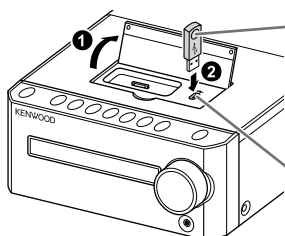


USB再生



再生する

1 USB機器を接続する



USBフラッシュメモリー（市販品）やUSBマストレージクラス対応のデジタルオーディオプレーヤー（市販品）など

（USB）端子

2 [USB ▶/II]キーを押して再生する

- 本体で操作するときは、[INPUT]キーを押して音源を「USB」に切り換えてから、[▶/II]キーを押して再生します。

ディスプレイ部の表示を変えるには

[DISPLAY]キーを押す。

押すたびに次のように切り換わります。

曲の経過時間 → フォルダ数/トラック数 → ファイル名 → フォルダ名 → タイトル（タグ） → アーティスト名（タグ） → アルバム名（タグ） → 曜日/時刻 → （最初に戻る）

USB機器のオーディオファイルを削除する

削除したファイルは元に戻すことはできませんので、ご注意ください。

1 削除したいオーディオファイルを再生または一時停止する 選曲方法は、37ページをご覧ください。

2 [CLEAR/DELETE]キーを押す

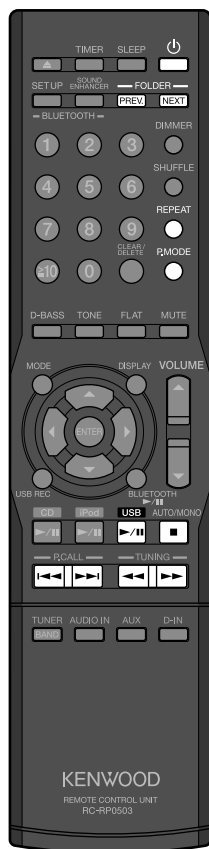
3 [▲]または[▼]キーを押して「DEL. OK」を選び、[ENTER]キーを押す

「DELETED」と表示され、ファイルが削除されます。

- 「DEL. CANCEL」を選び[ENTER]キーを押すと、削除はキャンセルされます。



- USB機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- iPod/iPhoneを本機のUSB端子に接続して使うことはできません。
- ソニー製ウォークマンを本機のUSB端子に接続して使うことはできません。
- USBケーブルで接続する場合は、長さ1m以下のUSBケーブルをご使用ください。
- USB機器によっては、認識されるまでに時間がかかることがあります。
- USB機器に再生可能なファイルがない場合は、再生は開始されません。
- デジタルHDDオーディオプレーヤーを接続した場合は、HDDシステム上、一時停止から再生開始したときに音切れが発生することがあります。
- 本機では、フォルダを削除することはできません。パソコンで削除してください。



再生中の操作

一時停止と再開

[USB ▶/II]キーを押す。

停止する

[■]キーを押す。

フォルダを飛ばす

次のフォルダに飛ぶ：[NEXT]キーを押す。

前のフォルダに飛ぶ：[PREV.]キーを押す。

早送り/早戻しをする

早送り：[▶▶]キーを押し続ける。

早戻し：[◀◀]キーを押し続ける。

次の曲に飛ぶ/曲の初めに戻る/前の曲へ戻る

次の曲に飛ぶ：[▶▶I]キーを押す。

曲の初めに戻る：[◀◀]キーを押す。

前の曲へ戻る：[◀◀]キーを2回以上押す。

選んだフォルダだけを再生する（フォルダ再生）

停止中に[P.MODE]キーを繰り返し押して「」を点灯させる。

ランダム再生をする

停止中に[P.MODE]キーを繰り返し押して「」を点灯させてから、[USB ▶/II]キーを押して再生する。

[P.MODE]キーを押すたびに次のように切り換わります。

フォルダ再生（点灯）→ ランダム再生（点灯）→ フォルダランダム再生（点灯）→ 通常再生 →（最初に戻る）

リピート再生をする

[REPEAT]キーを押してリピート再生を選ぶ

押すたびに次のように切り換わります。

1曲リピート再生（点灯）→ 全曲リピート再生（点灯）→ リピート再生を解除 →（最初に戻る）

USB機器を取り外すには

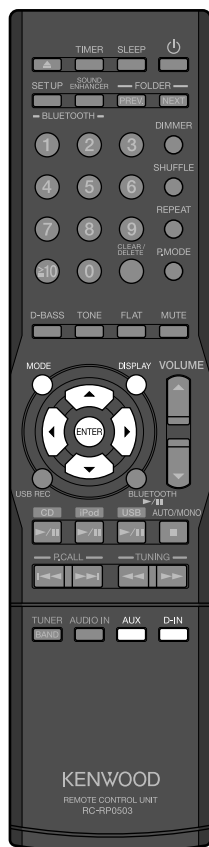
[■]キーを押して再生を停止し、[⏻]（電源）キーを押して電源をオフにしてから取り外す。



- [■]キーを押して再生を停止したときは、そのとき再生していた曲が記憶されており（「▶」が点滅します）、[USB ▶/II]キーを押すとその曲の最初から再生が始まります。（レジューム機能）
- もう一度[■]キーを押したり、電源をオフにすると、レジューム機能は解除されます。
- USB機器によっては、フォルダを飛ばせないことがあります。
- USBのプログラム再生機能はありません。
- USB機器の容量は、16GB以下を推奨します。



外部機器(AUX入力とデジタル入力)



あらかじめ、「他の機器（市販品）との接続」（P.11）にしたがって、本機背面の**AUX 入力端子**または**デジタル入力端子**に外部機器を接続しておいてください。

再生する

1 AUX 入力端子に接続した機器を再生する場合：

[AUX]キーを押す

- 本体で操作するときは、[INPUT]キーを押して音源を「AUX」に切り換えます。

デジタル入力端子に接続した機器を再生する場合：

[D-IN]キーを押す

- 本体で操作するときは、[INPUT]キーを押して音源を「D-IN」に切り換えます。

- 「D-IN」を選んだときは、入力信号のサンプリング周波数が表示されます。

D-IN 48 kHz

- D-INを使うときは、外部機器のデジタル音声出力設定をPCMにしてください。

2 接続した外部機器を操作して再生する

AUX 入力のレベルを調整する

同じボリュームでも**AUX 入力端子**に接続した外部機器からの音量が他の音源より大きく、または小さく感じた場合には入力レベルを調整できます。

1 [AUX]キーを押す

- 本体で操作するときは、[INPUT]キーを押して音源を「AUX」に切り換えます。

2 AUX 入力端子に接続した機器を再生する

3 [MODE]キーを押す

4 [◀]または[▶]キーを押して「INPUT LEVEL」を選び、[ENTER]キーを押す

5 [▲]または[▼]キーを押して入力レベルを-3から+5の範囲で調整し、[ENTER]キーを押す

ディスプレイ部の表示を変えるには

[DISPLAY]キーを押す。

押すたびに次のように切り換わります。

「AUX」または「D-IN」→ 曜日/時刻 → （最初に戻る）

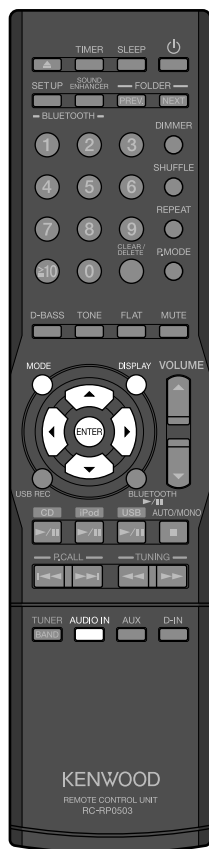


- 外部機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

- 本機で再生できるデジタル信号は、PCM（32、44.1、48、88.2、96kHz）です。



デジタルオーディオプレーヤーなど



あらかじめ、「他の機器（市販品）との接続」（P.11）にしたがって、本機背面の**AUDIO IN** 端子にデジタルオーディオプレーヤーなどを接続しておいてください。

- ソニー製ウォークマンなど、USB接続できない機器の場合は、**AUDIO IN** 端子に接続して音楽をお楽しみください。

再生する

- 1 **[AUDIO IN]キーを押す**
●本体で操作するときは、**[INPUT]**キーを押して音源を「**AUDIO IN**」に切り換えます。
- 2 デジタルオーディオプレーヤーなどを操作して再生する

入力レベルを調整する

同じボリュームでも接続した機器の音量が他の音源より大きく、または小さく感じた場合には入力レベルを調整できます。

- 1 **[AUDIO IN]キーを押す**
●本体で操作するときは、**[INPUT]**キーを押して音源を「**AUDIO IN**」に切り換えます。
- 2 デジタルオーディオプレーヤーなどを再生する
- 3 **[MODE]キーを押す**
- 4 **[◀]または[▶]キーを押して「INPUT LEVEL」を選び、[ENTER]キーを押す**
- 5 **[▲]または[▼]キーを押して入力レベルを-3から+5の範囲で調整し、[ENTER]キーを押す**

ディスプレイ部の表示を変えるには

[DISPLAY]キーを押す。

押すたびに次のように切り換わります。

「**AUDIO IN**」→ 曜日/時刻 → （最初に戻る）



接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。



USB録音

音楽CD、AM/FMラジオや外部機器の音声を、USB機器にMP3ファイルとして録音できます。



本体



[REC]インジケータ
(録音中に点灯します)

あらかじめ、十分な空き容量があるUSB機器をUSB端子に接続しておいてください。(P.36)

CDを全曲録音する

- 1 [CD ▶/II]キーを押して音源を「CD」にして、[■]キーを押して再生を停止する
- 2 [USB REC]キーを押して録音を始める
全曲の録音が終わると、自動的に録音とディスクの再生が停止します。

CDの1曲だけ録音する

- 1 録音したい曲を再生または一時停止する
- 2 [USB REC]キーを押して録音を始める
選んだ曲の最初から録音が始まり、1曲録音が終わると自動的に録音とディスクの再生が停止します。

CDから好きな曲順で録音する

- 1 録音したい曲順をプログラムする (P. 23の手順1～3)
- 2 [USB REC]キーを押して録音を始める
プログラムした全曲の録音が終わると、自動的に録音とディスクの再生が停止します。

FM/AMラジオ、外部機器から録音する

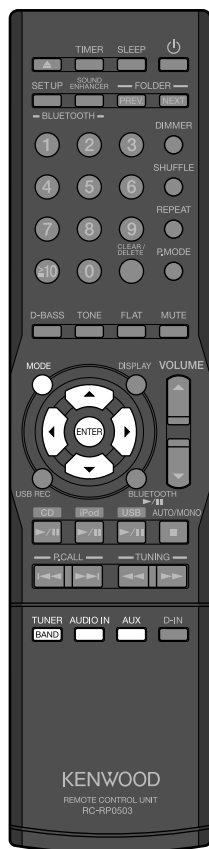
- 1 [TUNER/BAND]、[AUDIO IN]または[AUX]キーを押して、録音したい音源を選ぶ
- 2 FM/AMラジオ：録音したい放送局を選ぶ (P.24)
外部機器：録音したい音源を再生する
- 3 [USB REC]キーを押して録音待機にする
録音待機中は本体の[REC]インジケータが点滅します。
- 4 [USB REC]キーを押して録音を始める

録音を停止するには

[■]キーを押す。



- 録音中にUSB機器を取り外さないでください。
- MP3/WMAを記録したCD-R/CD-RWから録音することはできません。
- おやすみタイマー (P.44) 動作中は、録音することはできません。



録音音質を設定する

- 1 [CD ▶/II]、[TUNER/BAND]、[AUDIO IN]または[AUX]キーを押して、音源を選ぶ
- 2 [MODE]キーを押す
- 3 [◀]または[▶]キーを押して「REC FORMAT」を選び、[ENTER]キーを押す
- 4 [▲]または[▼]キーを押して設定を選び、[ENTER]キーを押す
次のように切り換わります。
●SQ：標準的な音質で録音します。(ビットレート128kbps)
●HQ：高音質で録音します。(ビットレート192kbps)

録音ファイルを自動分割する

FM/AMラジオや外部機器を録音中に、録音ファイルを15分または30分ごとに自動分割できます。

●音源ごとに設定できます。

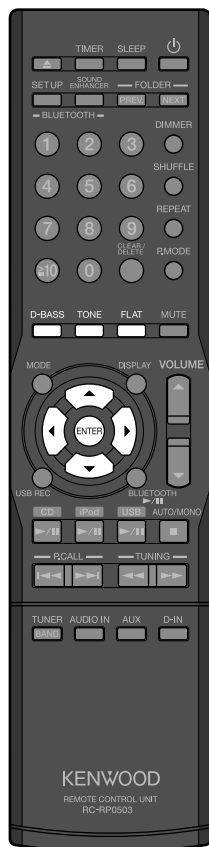
- 1 [TUNER/BAND]、[AUDIO IN]または[AUX]キーを押して、音源を選ぶ
- 2 [MODE]キーを押す
- 3 [◀]または[▶]キーを押して「AUTO DIVIDE」を選び、[ENTER]キーを押す
- 4 [▲]または[▼]キーを押して設定を選び、[ENTER]キーを押す
次のように切り換わります。
●OFF： 録音ファイルを自動分割しません。録音中に[ENTER]キーを押すごとに分割します。
●15 min.： 録音ファイルを15分ごとに自動分割します。
●30 min.： 録音ファイルを30分ごとに自動分割します。
15 min./30 min.に設定されているときでも[ENTER]キーで分割できます。



- 録音音質の設定は、すべての音源で共通です。
- 以下の場合は自動的に録音が停止します。
 - －音源を変える
 - －電源をオフにする
 - －USB機器の空き容量が無くなる
 - －USB機器のファイル数/フォルダ数が、本機の認識できる制限を超える
- 録音ファイルを分割すると、再生時にトラック間で無音が発生します。
- 録音されたファイルは、USB機器のルートに作成される「KWD」フォルダに保存されます。



音質設定



重低音を調整する (D-BASS)

本機はDSP (デジタルシグナルプロセッサー) によって、重低音効果を詳細に調整できます。

1 [D-BASS]キーを押す

2 [▲]または[▼]キーを押してレベルを0から10の範囲で調整し、[ENTER]キーを押す

- 数字が大きいくほど、より重低音が強調されます。
- レベルを0以外に設定すると「D-BASS」が点灯します。

音域レベルを調整する (TONE)

DSP (デジタルシグナルプロセッサー) によって、音域 (低音部、中音部、高音部) ごとのレベルを細かく調整できます。

1 [TONE]キーを押して音域 (BASS:低音部、MID:中音部、TREBLE:高音部) を選ぶ

押すたびに次のように切り換わります。

BASS (低音部) → MID (中音部) → TREBLE (高音部)
→ (設定解除) → (最初に戻る)

2 [◀]または[▶]キーを押して調整する周波数を選ぶ

- BASS 100 Hz、150 Hz、200 Hz
 - MID 1 kHz、2 kHz、3 kHz
 - TREBLE 5 kHz、7 kHz、10 kHz
- 各音域でそれぞれ一つの周波数を調整できます。

3 [▲]または[▼]キーを押してレベルを-8から+8の範囲で調整する

4 他の音域も調整するときは、手順1から3を繰り返す

5 [ENTER]キーを押す

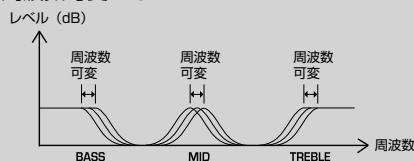
- レベルを0以外に設定すると「TONE」が点灯します。

D-BASS、TONEの効果をオフにするには

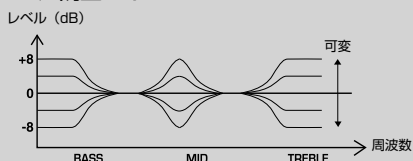
[FLAT]キーを押す

レベルの設定がすべて0になります。

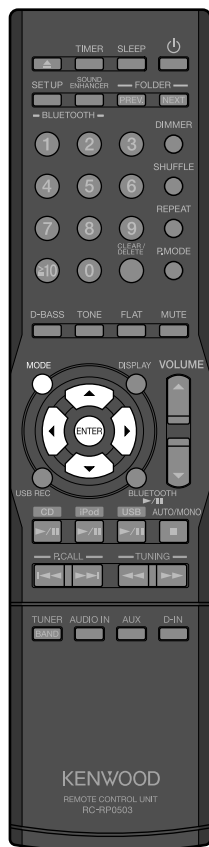
周波数可変のイメージ



レベル調整のイメージ



音質設定は、デジタル出力、AUX 録音出力や、録音される音声には影響ありません。



音響効果を部屋の特性に合わせる (CONEQ)

CONEQ (コネック: CONvolution Equalizer) のデジタル音質補正技術によって、お部屋に合わせた音響効果を選べます。

1 [MODE]キーを押す

2 [◀]または[▶]キーを押して「CONEQ SET」を選び、[ENTER]キーを押す

3 [▲]または[▼]キーを押して部屋の特性に合ったCONEQ番号を選び、[ENTER]キーを押す 次のように切り換わります。

- K-531 (スピーカーとセットでの販売品) の場合
CONEQ MODE1: 標準的な音響特性の部屋向け
CONEQ MODE2: 音が響きにくい部屋向け
CONEQ MODE3: 音がよく響く部屋向け
- R-K531 (本体部単品での販売品) の場合
CONEQ OFF: CONEQ解除
CONEQ MODE1: 標準的な音響特性の部屋向け
CONEQ MODE2: 音がよく響く部屋向け

Supreme EXを設定する (サブリームEX)

CDやオーディオファイル、またはデジタル入力端子に接続された機器を当社独自の音質向上技術で再生します。

- 「CD」または「D-IN」、「iPod」、「USB」が選ばれているときに Supreme EX機能が働きます。
ただし、WAVファイルのサンプリング周波数が48kHz以上の場合や、「D-IN」の入力信号が96kHz、88.2kHz、48kHzの場合は、Supreme EX機能は働かず「SPRM EX」は消灯します。

1 [MODE]キーを押す

2 [◀]または[▶]キーを押して「SPRM SET」を選び、[ENTER]キーを押す

3 [▲]または[▼]キーを押して「SPRM ON」または「SPRM OFF」を選び、[ENTER]キーを押す ●「SPRM ON」に設定すると、「SPRM EX」が点灯します。

スピーカーの左右の音量バランスを調整する

ヘッドホンを接続しているときは調整できません。

1 [MODE]キーを押す

2 [◀]または[▶]キーを押して「BALANCE」を選び、[ENTER]キーを押す

3 [▲]または[▼]キーを押してバランスを調整し、[ENTER]キーを押す





タイマー設定



おやすみタイマーを設定する (SLEEP)

設定した時間になると自動的に電源がオフになります。電源オフまでの時間を10分から90分まで10分単位で設定できます。

1 [SLEEP]キーを押して、電源がオフになるまでの時間を 選ぶ

押すたびにタイマーの時間が次のように切り換わります。

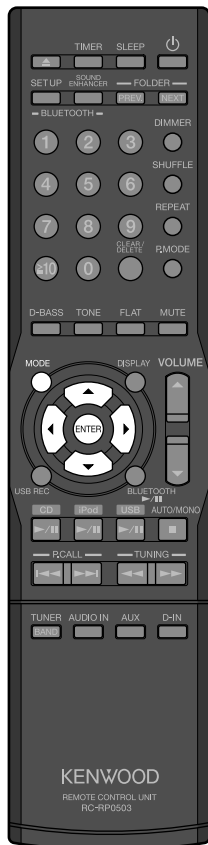
10 → 20 → 30 → 40 → 50 → 60 → 70 → 80 → 90 →
解除 (「」 消灯) → (最初に戻る)

おやすみタイマー動作中に残り時間を確認するには

[SLEEP]キーを押す

おやすみタイマーを解除するには

[] (電源) キーを押して電源オフ (スタンバイ) にするか、[SLEEP] キーを押して「」を消灯する



プログラムタイマーを設定する (TIMER SET)

タイマー再生と、ラジオ放送のタイマー録音ができます。2つのタイマー (PROG. 1、PROG. 2) を設定できます。

1 [MODE]キーを押す

2 [◀]または[▶]キーを押して「TIMER SET」を選び、[ENTER]キーを押す

3 [▲]または[▼]キーを押して項目を選び、[ENTER]キーを押す

① [PROG. 1] または [PROG. 2] を選ぶ

② [ON] または [OFF] を選ぶ

[OFF]を選ぶと操作が終了し、元の表示に戻ります。

③ タイマーを実行する曜日を選ぶ

EVERYDAY (毎日)、SUNDAY (日曜)、MONDAY (月曜)、TUESDAY (火曜)、WEDNESDAY (水曜)、THURSDAY (木曜)、FRIDAY (金曜)、SATURDAY (土曜)、MON-FRI (月曜～金曜)、TUE-SAT (火曜～土曜)、SAT-SUN (土、日曜)

④ [EVERY WEEK] (毎週) または [ONETIME] (1度だけ) を選ぶ

⑤ [ON] (開始時間) を設定する

⑥ [OFF] (終了時間) を設定する

⑦ [PLAY]、[AI PLAY] または [REC] を選ぶ

PLAY : 手順⑧で設定する音量で再生されます。

AI PLAY : 設定した時刻に再生が始まり、手順⑧で設定する音量まで徐々に大きくなります。

REC : タイマー録音します。

⑧ 音量 (0から80の範囲) を設定する

[VOLUME ▲]、[VOLUME ▼]キーでは設定できません。

⑨ 音源 (TUNER、CD、iPod、USB、D-IN、AUX、AUDIO IN) を選ぶ

- 「TUNER」以外の音源を選んだ場合は[ENTER]キーを押すと設定が完了します。

- 「TUNER」を選んだ場合は[▲]または[▼]キーでプリセット番号 (放送局) を選び、[ENTER]キーを押すと設定が完了します。

- 手順⑦で「REC」を選んだ場合は音源は自動的に「TUNER」になりますので、[▲]または[▼]キーでプリセット番号を選び、[ENTER]キーを押します。その後、録音音質を「SQ」または「HQ」から選び[ENTER]キーを押すと設定が完了します。

設定が完了すると「COMPLETE」と表示された後、元の表示に戻ります。

次ページに続く



● あらかじめ本機の時計を合わせておいてください。(P.47)

● 音源を準備し、動作することを確認しておいてください。

● タイマー録音する場合は、あらかじめ十分な空き容量があるUSB機器をUSB端子に接続しておいてください。(P.36)

● 設定の途中で、ひとつ前の状態に戻るときは[◀]キーを押してください。



4 プログラムタイマー待機のために[⏻]（電源）キーを押して電源をオフにする

●本体の[STANDBY/TIMER]インジケーターがオレンジ色に点灯します。

タイマーを解除（オフ）/再設定（オン）するには

電源がオンのときに、[TIMER]キーを押す

押すたびに次のように切り換わります。

PROG. 1がONの状態（「Ⓢ1」点灯）→ PROG. 2がONの状態（「Ⓢ2」点灯）→ PROG. 1、2がONの状態（「Ⓢ12」点灯）→ タイマー解除の状態（「Ⓢ12」消灯）

予約内容を変更するには

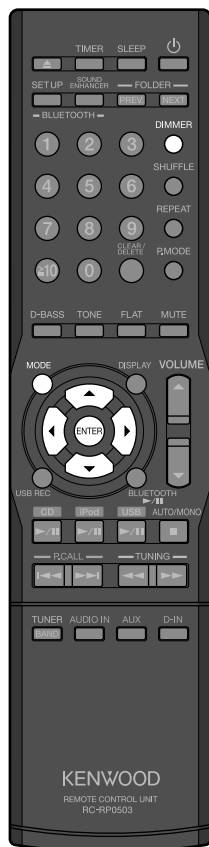
タイマー設定を最初からやり直す



- 外部機器は、タイマー機能付きの機器を使用してください。本機から外部機器をコントロールしてタイマー動作させることはできません。
- タイマー録音のときは、録音開始時間の2分前に電源がONになり、録音一時停止状態になります。
- プログラムタイマーを複数設定する場合は、プログラムどうしの時刻設定の間隔を3分以上あけて設定してください。
- 「PLAY」、「AI PLAY」の場合は、開始時刻の1分以上前に電源をオフにしてください。
- 「REC」の場合は、開始時刻の3分以上前に電源をオフにしてください。
- 電源がスタンバイ状態のときに[■]キーを押すと、タイマーのオン/オフ設定と現在の時刻が5秒間表示されます。



その他の設定



ディスプレイの明るさを設定する (DIMMER)

好みやお部屋の状態によって調節してください。

1 [DIMMER]キーを押す

押すたびに次のように切り換わります。

DIMMER OFF (通常の明るさ) → DIMMER 1 (表示部の輝度を下げる) → DIMMER 2 (表示部の輝度を下げ、イルミネーション消灯) → DIMMER 3 (表示部の輝度を通常の明るさに戻し、イルミネーション消灯) → (最初に戻る)

ディスプレイセーバーを設定する (DISP.SAVER)

本機を一定時間操作しない状態が続くとディスプレイがスクロール表示され、ディスプレイの文字の焼きつきや、輝度ムラを防ぎます。

1 [MODE]キーを押す

2 [◀]または[▶]キーを押して「DISP. SAVER」を選び、[ENTER]キーを押す

3 [▲]または[▼]キーを押して「ON」または「OFF」を選び、[ENTER]キーを押す

ON : 再生停止後またはキー操作後、10分間操作しない状態が続くとディスプレイセーバーが働きます。

OFF : ディスプレイセーバーがオフになります。

時刻設定

1 [MODE]キーを押す

2 [◀]または[▶]キーを押して「TIME ADJUST」を選び、[ENTER]キーを押す

3 [▲]または[▼]キーを押して曜日を合わせ、[ENTER]キーを押す

4 [▲]または[▼]キーを押して「時」を合わせ、[ENTER]キーを押す

5 [▲]または[▼]キーを押して「分」を合わせ、[ENTER]キーを押す



- 停電や電源プラグをコンセントに入れ直した場合は、もう一度時刻設定をしてください。
- 電源がスタンバイ状態のときに[■]キーを押すと、時刻が5秒間表示されます。





オートパワーセーブ (A.P.S.) を設定する

無操作が約15分続くと、自動で電源がオフになる機能です。

●工場出荷時はONに設定されています。

1 [MODE]キーを押す

2 [◀]または[▶]キーを押して「A.P.S. SET」を選び、 [ENTER]キーを押す

3 [▲]または[▼]キーを押して「ON」または「OFF」を選び、 [ENTER]キーを押す

ON： 以下のような状態で約15分間何も操作しないと、オートパワーセーブが働き自動的に電源がオフになります。

- 音量が「0」あるいは消音しているとき
- 音源が「CD」または「USB」で、再生していないとき
- 音源が「BLUETOOTH」で、BLUETOOTH機器が接続されていないとき
- 音源が「iPod」で、iPod/iPhoneを接続していないとき
- 音源が「D-IN」で、信号の入力が無く「UNLOCK」と表示されているとき

OFF： オートパワーセーブがオフになります。



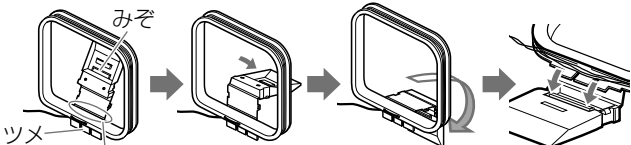
- USB機器に録音中は、A.P.S.は働きません。
- AUX 録音出力端子から他の機器に録音中は、A.P.S.が働きます。A.P.S.が働かないようにするには、A.P.S.をオフにするか、音量を「0」以外にしてください。

故障かな？と思ったら

調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に、症状にあわせて一度チェックしてみてください。

	症状	処置
電源部	電源がオンにならない/ 自動的に電源がオフになる	●電源コードのプラグをコンセントへ正しく差し込む。(P.10) ●スピーカーコードがショート（芯線の+と-が接触）していないか確認する。(P.10)  芯線がばらけて細い線が接触していないか確認し、正しく接続し直す。 ●オートパワーセーブの設定を確認する。(P.48)
アンプ部・スピーカー部	スピーカーから音が出ない	●「接続のしかた」を参照し、正しく接続し直す。(P.10、11) ●音量を上げる。(P.12、14) ●消音を解除する。(P.14) ●ヘッドホンが差し込まれている場合はプラグを抜く。(P.12)
	「D-IN」から音が出ない	●「接続のしかた」を参照し、正しく接続し直す。(P.11) ●接続機器のデジタル音声出力設定を「PCM」に設定しているか確認する。
	スピーカーの片側から音が出ない	●「接続のしかた」を参照し、正しく接続し直す。(P.10) ●左右の音量バランスを確認する。(P.43)
	時刻表示が点滅している	●「時刻設定」を参照し、時刻を合わせる。(P.47)
	タイマーが作動しない	●「時刻設定」を参照し、時刻を合わせる。(P.47) ●プログラムタイマーの開始時刻と終了時刻を設定する。(P.45)
CD部	ディスクを入れても再生できない	●ラベル面を上にして、正しく入れる。(P.20) ●「保管とお手入れ」を参照し、ディスクの汚れをふきとる。(P.19) ●「結露に注意」を参照し、露を蒸発させる。(P.19)
	音が出ない	●[CD ▶/II]キーを押す。 ●「保管とお手入れ」を参照し、ディスクの汚れをふきとる。(P.19)
	音とびする	●「保管とお手入れ」を参照し、ディスクの汚れをふきとる。(P.19)
	再生できないオーディオファイルがある	●オーディオファイルが壊れている場合は再生できません。 ●本機で再生できるオーディオファイルか確認する。(P.17)
	再生するまでに時間がかかる	●フォルダの数が多い場合は再生するまでに時間がかかる場合があります。(P.18)
	タグ情報が正しく表示されない	●「再生できるオーディオファイル」を参照し本機で表示できるタグ情報を確認する。(P.17)

		症状	処置
チューナー部		放送局が受信できない	●アンテナを接続する。(P.10) ●AMループアンテナのコードを黒白正しく接続する。(P.10) ●放送バンド (FMまたはAM) を合わせる。(P.24) ●受信したい放送局の周波数に合わせる。(P.24)
		雑音が入る	●外部アンテナを道路から離して設置する。 ●電気器具の電源をオフにしてみる。 ●テレビから離す。
		プリセットコールができない	●もう一度放送局を自動で記憶させる。(P.25) ●受信できる周波数の放送局をマニュアルプリセットする。(P.29)
BLUETOOTH部		ペアリングできない	●最初に本機をペアリング待機状態にしてから、BLUETOOTH機器 (相手機器) 側でペアリング操作をする。(P.30) ●BLUETOOTH機器との距離を近づける。 ●近くに他のBLUETOOTH機器があると、ペアリングできないことがあります。その場合は、他のBLUETOOTH機器の電源をオフにする。
		接続に失敗する	●BLUETOOTH機器がA2DP (Advanced Audio Distribution Profile) とAVRCP (Audio/Video Remote Control Profile) のプロファイルに対応しているか確認する。(P.16) ●いったん接続を切り、接続し直す。(P.30) ●登録情報を削除し、ペアリングし直す。(P.30)
		BLUETOOTH使用時に音や接続が途切れる	●BLUETOOTH機器との距離が遠い場合は、近づけて使用する。 ●BLUETOOTH機器との間に障害物がある場合は取り除く。 ●BLUETOOTH機器の音量を下げる。
iPod/iPhone		iPod/iPhoneがしっかりはまらない	●正しいDockアダプターを使用しているか確認する。またiPod/iPhoneと本機のコネクタ部分に異常が無いか確認し、接続し直す。(P.34)
		iPod/iPhoneの音が出ない/充電できない	●iPod/iPhoneが正しく接続されていない。iPodを本機から取り外し、接続し直す。(P.34)
		iPod/iPhoneを再生できない/認識できない	●iPod/iPhoneを外した状態で、iPod/iPhoneをリセットし、本機の電源コードを抜き差しする。(iPod/iPhoneのリセット方法については、アップル社のウェブサイトをご覧ください。) ●本機のUSB端子は、iPod/iPhoneの接続には対応していません。
USB部		USBフラッシュメモリーまたはUSBオーディオプレーヤーを接続しても音が出ない	●USBフラッシュメモリーを正しく差し込む。(P.36) ●USBケーブルを正しく接続する。(P.36) ●USBオーディオプレーヤーの電源がオンになっているか確認する。 ●パソコンで、USBフラッシュメモリーをFAT32形式でフォーマットする。そのあとに、音楽を再度転送する。(フォーマットをすると、USBフラッシュメモリー内の記録データはすべて消去されますのでご注意ください。) ●他のUSBフラッシュメモリーに交換する。
		iPod/iPhoneを再生できない/認識できない	●本機のUSB端子は、iPod/iPhoneの接続には対応していません。
		ウォークマン (ソニー製) を再生できない/認識できない	●本機のUSB端子は、ウォークマンの接続には対応していません。ウォークマンはAUDIO IN 端子へ接続する。(P.39)

症状	処置
本体 録音できない タイマー録音できない	●USB機器の空き容量を確認する。 ●USB機器の書き込み保護を解除する。 ●本機で利用できるUSB機器が確認する。(P.16) ●USB機器のフォルダ数/ファイル数が、本機の認識できる制限を超えている。不要なフォルダ/ファイルを削除する。
	●時刻設定 (P.47)、アンテナ接続 (P.10)、放送局設定 (P.24、25)を確認し、再度タイマー設定をする。(P.45)
AMループアンテナの組み立てがうまくいかない	●AMループアンテナを折る向きをよく確認し、組み立てる。  折り曲げ部に奥に
リモコンで操作できない	●新しい電池に入れ換える。(P.15) ●操作範囲内で操作する。(P.15)
その他 マイコンが誤動作（操作できない、表示部の誤表示など）する	●電源がオンのときの接続コードの抜き差しや、外部からの要因により、誤動作することがあります。その場合は、電源プラグをコンセントから抜き、10秒ほどたってから差し込み直してから操作をする。それでも改善されないときは、以下の手順に従い、マイコンをリセットする。 ① 電源プラグをコンセントから抜く。 ② 本体の[⏻]（電源）キーを押しながら、電源プラグを差し込み直す。下記のディスプレイが表示されるまで押しつづける。マイコンのリセットが始まります。 INITIALIZE ③ リセットが終了し、スタンバイモードになります。リセットにより、各種の記憶内容は消滅し、お買い上げ時の状態となります。ご了承ください。

- この製品はReal Sound Lab, SIA からの実施権に基づき製造されています。
- CONEQ は、Real Sound Lab, SIA の商標です。
- "Made for iPod," and "Made for iPhone" mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod, or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod, or iPhone may affect wireless performance.
- iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.
- Windows Mediaは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc が所有する登録商標であり、株式会社JVCケンウッドは、これらの商標を使用する許可を受けています。

保証書

製品には保証書が添付されております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

修理に関するご相談ならびにご不明な点は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または最寄りのサービスセンターにお問い合わせください。（お問い合わせ先は、「ケンウッド全国サービス網」をご覧ください。）

修理を依頼されるときは

「故障かな？と思ったら」に従ってお調べいただき、なお異常がある時は製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店または最寄りのサービスセンターにお問い合わせください。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、このステレオの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しております。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

保証期間中は

保証期間中は保証書の規定に従って、お買い上げの販売店または当社サービスセンターが修理をさせていただきます。

修理に際しましては保証書をご提示ください。

出張修理／持込修理

「出張修理」、「持込修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。出張修理を依頼される時は、次のことをお知らせください。

- ・ 製品名
- ・ 製造番号（Serial No.）
- ・ お買い上げ年月日
- ・ 故障の症状（できるだけ具体的に）
- ・ ご住所（ご近所の目印等も併せてお知らせください）
- ・ お名前、電話番号、訪問ご希望日

保証期間が過ぎているときは

保証期間が過ぎている時は、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み

（有料修理の場合は、次の料金をいただきます）

技術料：

製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。

部品代：

修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

出張料：

製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

送料：

郵便、宅配便などの料金です。保証期間内に無償修理などを行うにあたって、お客様に負担していただく場合があります。

ケンウッド全国サービス網

修理などアフターサービスについてのお申し込みは、お買い上げの販売店または最寄りのサービスセンターへお申しつけください。

2012年7月現在

北海道			
札幌サービスセンター	☎ 004-0005	札幌市厚別区厚別東5条1-2-29	☎ (011) 807-3003
東北			
仙台サービスセンター	☎ 984-0011	仙台市若林区六丁の目西町7-13	☎ (022) 287-0151
関東・信越			
さいたまサービスセンター	☎ 331-0812	さいたま市北区宮原町1-202	☎ (048) 778-8714
千葉サービスセンター	☎ 277-0863	柏市豊四季512-10-67	☎ (04) 7175-4322
横浜サービスセンター	☎ 226-8525	横浜市緑区白山1-16-2	☎ (045) 939-6242
八王子サービスセンター	☎ 192-8525	八王子市石川町2967-3	☎ (042) 646-6914
新潟サービスセンター	☎ 950-0913	新潟市中央区鎧1-5-23	☎ (025) 245-2177
東京サービスセンター	☎ 135-0023	江東区平野3-2-6 木場パークビル1F	
(修理持込専用窓口) 電話でのお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにて承ります。			
中部・甲州			
名古屋サービスセンター	☎ 481-0041	北名古屋市九之坪鶴田121-1	☎ (0568) 24-1644
静岡サービスセンター	☎ 420-0816	静岡市葵区沓谷5-61-1	☎ (054) 262-8700
金沢サービスセンター	☎ 921-8062	金沢市新保本4-65-17	☎ (076) 269-4821
近畿・四国			
大阪サービスセンター	☎ 532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28	☎ (06) 6390-8005
高松サービスセンター	☎ 761-8057	高松市田村町205-1	☎ (087) 802-6055
中国			
広島サービスセンター	☎ 730-0825	広島市中区光南3-9-17	☎ (082) 241-0023
九州			
福岡サービスセンター	☎ 812-0031	福岡市博多区沖浜町11-10 サンイースト福岡3F	☎ (092) 283-6675
鹿児島サービスセンター	☎ 891-0114	鹿児島市小松原1-5-17	☎ (099) 268-0030
沖縄サービスセンター	☎ 901-2224	宜野湾市真志喜1-11-12 コモンズビル1F	☎ (098) 898-3631

■ サービスセンターの営業時間のご案内

受付時間 10:00～18:00 (土曜、日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)
(各サービス窓口の名称、所在地、電話番号は変更になることがありますのでご了承ください。)

JVCケンウッドカスタマーサポートセンター

■ 商品に関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。

フリーダイヤル 0120-2727-87

携帯電話、PHS、IP電話からは 045-450-8950 FAX 045-450-2308

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00

土曜 9:30～12:00、13:00～17:30 (日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)

住所 〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

定格

アンプ部

実用最大出力			40 W + 40 W (JEITA 4 Ω)
全高調波ひずみ率			0.03% (1 kHz、1 W、4 Ω)
トーンコントロール特性	BASS	(TURN OVER 100 Hz)	±4.0 dB (at 100 Hz)
		(TURN OVER 150 Hz)	±6.6 dB (at 100 Hz)
		(TURN OVER 200 Hz)	±7.5 dB (at 100 Hz)
	MID	(TURN OVER 1 kHz)	±8.0 dB (at 1 kHz)
		(TURN OVER 2 kHz)	±8.0 dB (at 2 kHz)
		(TURN OVER 3 kHz)	±8.0 dB (at 3 kHz)
	TREBLE	(TURN OVER 5 kHz)	±7.6 dB (at 10 kHz)
		(TURN OVER 7 kHz)	±6.7 dB (at 10 kHz)
		(TURN OVER 10 kHz)	±4.0 dB (at 10 kHz)
D-Bass (+10)			+15.9 dB (60 Hz、Vol. 60)
入力端子 (感度／インピーダンス)		AUX 入力	500 mV / 47 kΩ
		AUDIO IN	250 mV / 47 kΩ
出力端子 (レベル／インピーダンス)		サブウーファースプリアウト	2 V / 160 Ω
		AUX 録音出力	500 mV / 160 Ω

デジタル部

対応サンプリング周波数		32 kHz、44.1 kHz、48 kHz、 88.2 kHz、96 kHz
Supreme EX (CD、D-IN、iPod、USB)	再生可能周波数	1 Hz ~ 24 kHz
入力端子 (感度／波長)	オプチカル	-15 dBm ~ -24 dBm、 660 nm ±30 nm
出力端子 (レベル／波長)	オプチカル	-21 dBm ~ -15 dBm、660 nm

USB部

対応USB機器	USBマストレージクラスデバイス
インターフェイス	USB2.0 (Full speed) USB1.1互換
対応ファイルシステム	FAT 16 / 32
出力	DC 5 V ≡ 500 mA

iPod/iPhone部

出力	DC 5 V ≡ 1 A
----	--------------

チューナー部		
FMチューナー部	受信周波数範囲	76 MHz ～ 90 MHz
	アンテナインピーダンス	75 Ω不平衡
AMチューナー部	受信周波数範囲	531 kHz ～ 1,602 kHz

CDプレーヤー部	
読み取り方式	非接触光学式読み取り (半導体レーザー)

BLUETOOTH部	
規格	BLUETOOTH ver. 2.1 +EDR Class 2
対応BLUETOOTHプロファイル	A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) * AVRCP (Audio Video Remote Control Profile)
通信形式	2.4 GHz FHSS
最大通信距離	見通し距離約10 m

* 受信のみ。SCMS-Tに対応。

電源部・その他	
電源電圧・電源周波数	AC 100 V、50 Hz / 60 Hz
待機時消費電力	0.5 W以下
定格消費電力（電気用品安全法に基づく表示）	45 W
最大外形寸法（幅 × 高さ × 奥行）	200 mm × 95 mm × 299 mm
質量（重量）	2.3 kg

スピーカー部（K-531のみに付属）		
エンクロージャー		バスレフ方式
スピーカユニット	ウーファー	110 mmコーン型
	ツイーター	25 mmドーム型
定格インピーダンス		4 Ω
最大入力		40 W
最大外形寸法（幅 × 高さ × 奥行）		140 mm × 237 mm × 236 mm
質量（重量）		3.4 kg

本製品は「JIS C61000-3-2適合品」です。

- これらの定格、仕様およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。
- 極端に寒い（水が凍るような）場所では十分な性能が発揮できないことがあります。

ホームページのサポート情報について

製品に関する一般的なご質問などをホームページにて、情報提供しています。
ご活用ください。

<http://www2.jvckenwood.com/faq/>

修理などアフターサービスについて

お買い上げの販売店か、「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、
最寄りのサービス窓口にご相談ください。

ユーザー登録について

カスタマーサポートの向上のため、ユーザー登録（My-Kenwood）を
お願いしています。当社ホームページ内で登録ができます。なお、詳細
につきましては、利用規約等を事前にお読みください。

<https://jp.my-kenwood.com>

KENWOOD

株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 横浜市神奈川区守屋町3-12